目　次

第１講　文学史①（上代・中古）　p２

第２講　文学史②（中世・近世）　p10

第３講　文学史③（近代・現代）　p34

第４講　宗教史　p60

第５講　美術史　p81

第６講　教育史　p100

第１講　文学史①（上代(じょうだい)・中古(ちゅうこ)）

１　古墳～天平(てんぴょう)文化（上代）

①古墳文化の神話・伝承形成（６世紀半ば，欽明(きんめい)朝？）

A　**『帝紀(ていき)』**

神武(じんむ)天皇以降の大王の系譜。

B　**『旧辞(きゅうじ)』**

朝廷の説話・伝承。

②飛鳥文化の学問（７世紀前半）

A　**三経義疏(さんぎょうのぎしょ)**〔法華経・勝鬘経(しょうまんきょう)・維摩経(ゆいまきょう)〕

聖徳太子が著した？経典の注釈書。

B　**『天皇記』『国記』**（620年）

聖徳太子と蘇我馬子が共同で編纂した歴史書。645年，蘇我氏の滅亡と共に焼失。

③白鳳文化の文学（７世紀後半）

A　**漢詩**〔からうた〕

大友皇子，大津皇子らの作品が，奈良時代の『懐風藻(かいふうそう)』に収められる。

B　**和歌**〔やまとうた〕

有間皇子，持統天皇ら皇族，**額田王(ぬかたのおおきみ)**，**柿本人麻呂(かきのもとのひとまろ)**，山部赤人(やまべのあかひと)ら宮廷歌人の作品が，奈良時代の『万葉集』に収められる。

④天平文化の歴史・地誌（８世紀前半）

A　**古事記**（**712年**，**稗田阿礼**の暗誦をもとに**太安万侶**が編纂し元明天皇に献上）

『帝紀』『旧辞』の誤りを正し，氏姓の尊卑に基づく社会制度の確立を意図。**神代〜推古天皇**を漢字の音訓を用い**紀伝体**で３巻に収録した，**最古の歴史書**。

B　**日本書紀**（**720年**，**舎人親王**らが編纂し元正天皇に献上）

皇室による国家統治の正当性を証明し，国家の威容を誇示する**正史**として編纂。『帝紀』『旧辞』などを参考に**神代〜持統天皇**を**正式の漢文編年体**で30巻＋系図１巻に収録した，**六国史のはじめ**。

☆**六国史**　⇒**日本書紀**，**続日本紀**（文武〜桓武天皇を藤原継縄らが編纂），**日本後紀**（桓武〜淳和天皇を藤原緒嗣らが編纂），**続日本後紀**（仁明天皇一代を藤原良房らが編纂），**日本文徳天皇実録**（文徳天皇一代を藤原基経らが編纂），**日本三代実録**（清和・陽成・光孝天皇三代を藤原時平らが編纂）

☆**類聚国史**⇒六国史の記事を事項別に分類し，年代順に配列したもの。菅原道真の編纂。

C　**風土記**（**713年**，元明天皇の命により，**各国の物産・地理・伝説を国司が編纂**）

五風土記（**出雲**・常陸・播磨・豊後・肥前）が残存，うち出雲国のみ完本。

⑤天平文化の文芸（８世紀後半）

A　**懐風藻**（751年）

最古の漢詩集，長屋王・**淡海三船**・**石上宅嗣**らが当時の代表的詩人。

B　**万葉集**（８世紀後半）⇒**万葉仮名**を使用，雑歌・相聞歌・挽歌

約4500首を20巻に収める**最古の和歌集**，素朴で力強い**万葉調**〔ますらをぶり〕。

☆天皇〔大王〕から**東歌**・**防人歌**など地方農民の歌まで幅広く収録，当時の政治・社会を知る大きな手掛かり。

☆当時の代表的歌人は山部赤人，山上憶良，大伴旅人，大伴坂上郎女，**大伴家持**ら。

２　弘仁(こうにん)・貞観(じょうがん)～院政期の文化（中古）

①弘仁・貞観文化の文芸（９世紀）

上級貴族の教養として，漢文学・歴史学習（＝紀伝道）が流行。重要な出世の手段ともなり，文人官僚を生んだ。

☆代表的漢詩作家は嵯峨天皇，空海，小野篁(おののたかむら)，都良香(みやこのよしか)，菅原道真ら。

A　**勅撰漢詩集(ちょくせんかんししゅう)**⇒文芸を中心に国家の隆盛を目指す（＝**文章経国(もんじょうけいこく)**思想）

あ　**凌雲集(りょううんしゅう)**　**（嵯峨天皇）**→小野岑守(おののみねもり)・菅原清公(きよきみ)らが編集

い　**文華秀麗集(ぶんかしゅうれいしゅう)（嵯峨天皇）**→藤原冬嗣・菅原清公らが編集

う　**経国集(けいこくしゅう)**　（淳和(じゅんな)天皇）→良岑安世(よしみねのやすよ)らが編集

B　**漢詩集**

あ　**性霊集(しょうりょうしゅう)**　**（空海）**

い　**菅家文草(かんけぶんそう)**　**（菅原道真）**

う　菅家後集(こうしゅう)　（菅原道真）

C　漢詩論

文鏡秘府論(ぶんきょうひふろん)　（空海）

☆最古の評論。

D　**説話集**

日本霊異記(にほんりょういき)　**（景戒(けいかい)）**

☆**最古の説話集**。

E　歴史書

あ　『続日本紀(しょくにほんぎ)』以下の「六国史(りっこくし)」が完成

い　**『類聚国史(るいじゅうこくし)』（菅原道真）**

☆「六国史」の記事を分類したもの。

F　**かな文字〔仮名文字〕**の登場

９世紀に入り，万葉がなの草書体（**草がな**〔草体がな〕）を簡略化した**平がな**や，漢字の一部分を採(と)った片かなが用いられ始めた。

☆藤原有年(ありとし)申文（讃岐国の国司，867年）は，草がなから平がなへの変化を示す好例。

☆僧正遍昭(へんじょう)，在原業平(ありわらのなりひら)，小野小町(おののこまち)，喜撰(きせん)法師，文屋康秀(ふんやのやすひで)，大友黒主(おおとものくろぬし)は，六歌仙（９世紀後半の和歌６名手）として有名。

②国風文化の文芸（10～11世紀前半）

A　**かな文字の発達**

日本人特有の内面的感情・感覚の表現が可能となり，国文学の隆盛をもたらす。

☆10世紀までに，『いろは歌』や五十音図が成立したとされる。

B　詩歌⇒和歌が漢詩と並ぶ地位を確立

あ　**古今和歌集**（905年，**醍醐天皇**）

万葉集以降～当代の約1100首を20巻に収める**初の勅撰和歌集**で，**八代集**のはじめ。繊細で技巧的な**古今調**〔たをやめぶり〕。**紀貫之**・紀友則・凡河内躬恒・壬生忠岑が編纂。紀貫之の**仮名序**はわが国最古の歌論。

☆**八代集**⇒古今・後撰・拾遺・後拾遺・金葉・詞花・千載・新古今と続く８勅撰和歌集。

い　**和漢朗詠集**

藤原公任が編纂した，朗詠に適した和漢の詩歌集。

う　本朝文粋

『明衡往来』（最古の往来物）の著者でもある藤原明衡が編纂した漢詩集。

C　物語

あ　９世紀末～10世紀前半

竹取物語　（伝奇物語）

☆かぐや姫を主人公とする**最古の物語**。

伊勢物語　（歌物語）

☆在原業平を主人公とする**最古の歌物語**。

い　10世紀後半

宇津保物語（伝奇物語）

☆竹取物語⇒源氏物語への過渡的な存在。

落窪物語　（伝奇物語）

☆継子物語の先駆。

う　11世紀初め

源氏物語　　（**紫式部**，全54帖）

☆前編は**光源氏**，後編の宇治十帖はその子薫大将を主人公とする物語文学の最高峰。**国際的評価も極めて高い。**

栄花（華）物語（赤染衛門ら）

☆藤原氏全盛期を**賞賛的に，編年体で描く**歴史物語。

D　日記文学

あ　10世紀

土佐日記　　　**（紀貫之）**

☆女性に仮託して書かれた**最古のかな日記**。

蜻蛉日記　　　**（藤原道綱の母）**

☆一夫多妻制の貴族社会における女性の苦悩を描く**最古の女流日記**。

い　11世紀前半

和泉式部日記　（和泉式部）

紫式部日記　　**（紫式部）**

☆**紫式部は一条天皇の中宮である彰子**〔上東門院〕**に仕えた。**

う　11世紀半ば

更級日記　　　**（菅原孝標の女）**

E　随筆

枕草子　　　　　**（清少納言）**⇒最古の随筆

☆**清少納言は一条天皇の中宮（のち皇后）である定子に仕えた。**

F　百科事典

倭名類聚抄〔倭名抄〕（源 順）⇒最古の百科事典

③院政期の文芸（11世紀末～12世紀半ば）

A　**説話集**

今昔物語集（こんじゃくものがたりしゅう）

☆天竺（てんじく）・震旦（しんたん）・日本〔インド・中国・日本〕の1000余りの説話を，和漢混淆文（わかんこんこうぶん）で記す。

B　**軍記物語**

当時の皇族・貴族が，地方の動きや武士・庶民の姿に関心をもっていたことを示す戦記。

あ　**将門記**（しょうもんき）

☆**平将門の乱**（939年～）を漢文体で記した，**初の軍記物語**。

い　**陸奥話記**（むつわき）

☆**前九年の役**（えき）（1051年～）を，日本的漢文体で記す。

C　**歴史物語**

あ　**大鏡**（おおかがみ）〔世継（よつぎ）物語〕

☆藤原氏全盛期を**批判的に**，**紀伝体**で描く。「四鏡（しきょう）」（大鏡・今鏡（いまかがみ）・水鏡（みずかがみ）・増鏡（ますかがみ））のはじめ。

い　今鏡

☆おもに院政期を描く。

D　仏教史書

扶桑略記（ふそうりゃっき）（皇円（こうえん））

☆司馬達等（しばたっと）（鞍作鳥（くらつくりのとり）の祖父）らによる仏教私伝（しでん）についての記述で有名。

E　歴史書

本朝世紀（ほんちょうせいき）（藤原通憲（みちのり）〔信西（しんぜい）〕）

☆鳥羽上皇の命により六国史を継ぐ目的で編纂されたが，未定稿（みていこう）に終わる。

④院政期の芸能（11世紀末〜12世紀半ば）

A　**今様**(いまよう)

現代風の民間の流行歌謡(かよう)。男装の女性が今様を歌いながら舞う白拍子(しらびょうし)も流行。

☆**後白河上皇が『梁塵秘抄(りょうじんひしょう)』**を編纂。

B　**催馬楽**(さいばら)

神事(しんじ)の神楽(かぐら)や日本古来の民謡・和歌を唐楽風に編曲。10世紀ごろに始まり，皇族・貴族に愛好される。

C　傀儡(くぐつ)

歌に合わせ操り人形を躍らせる芸。

D　朗詠(ろうえい)

和漢の秀句（とくに漢詩文）を訓読で吟じる。

E　**田楽**(でんがく)

民間の農作業にともなう労働歌舞(かぶ)。しだいに芸能化し，貴族の間で流行。

☆大江匡房(おおえのまさふさ)の『洛陽(らくよう)田楽記』にある永長(えいちょう)の大田楽(おおでんがく)（1096年）が有名。

F　**猿楽**(さるがく)

滑稽(こっけい)を主とした雑芸や歌曲。奈良時代に伝来した散楽(さんがく)から発展したとされる。

☆京の猿楽興行の様子などを記した往来物に藤原明衡(あきひら)の『新猿楽記』がある。

〈***Note***〉

第２講　文学史②（中世・近世）

1　鎌倉～室町文化（中世）

①鎌倉文化の文芸（12世紀末～14世紀前半）

A　和歌集

あ　**新古今和歌集（1205年，後鳥羽上皇）**

1980首を20巻に収める**勅撰(ちょくせん)和歌集**で，**八代集**の最後。体言(たいげん)止め・本歌取りなどの技巧的な表現，観念的な美の境地(きょうち)は**新古今調**とされる。**藤原定家(さだいえ)**・藤原家隆(いえたか)らが編纂。

い　**山家集(さんかしゅう)　（西行(さいぎょう)）**

☆西行は，出家前は北面の武士として鳥羽上皇に仕えていた。

う　**金槐(きんかい)和歌集　（源実朝(さねとも)，万葉調の作風）**

え　小倉(おぐら)百人一首（藤原定家）

拾遺愚草(ぐそう)　（　〃　）

☆藤原定家は歌論『近代秀歌(しゅうか)』も著す。

B　説話集

あ　発心集(ほっしんしゅう)　（鴨長明(かものちょうめい)）

い　**宇治拾遺(しゅうい)物語**

☆院政期の『今昔(こんじゃく)物語集』の補完。不思議な説話が多い。

う　**十訓抄(じっきんしょう)**

え　**古今著聞集(ここんちょもんじゅう)**　（橘成季(なりすえ)）

お　**沙石集(しゃせきしゅう)　（無住(むじゅう)〔無住一円〕，仏教説話集）**

C　**随筆**⇒隠者(いんじゃ)文学の双璧(そうへき)

あ　**方丈記(ほうじょうき)　（鴨長明）**

☆鎌倉初期の作，鴨長明は歌論『無名抄(むみょうしょう)』も著す。

い　**徒然草(つれづれぐさ)　（兼好(けんこう)法師〔卜部兼好(うらべかねよし)・吉田兼好〕）**

☆鎌倉末～南北朝期の作。

D　紀行文⇒幕府開設にともなう京・鎌倉間の往来

あ　海道記(かいどうき)

い　東関紀行(とうかんきこう)　（源親行(ちかゆき)？）

う　**十六夜日記(いざよいにっき)　（阿仏尼(あぶつに)）**

☆実子と継子(ままこ)の所領裁判のため，京から鎌倉へ赴(おもむ)く旅日記。

E　日記

あ　**玉葉**(ぎょくよう)　**（九条兼実**(かねざね)**）**

い　明月記(めいげつき)　（藤原定家）

F　**軍記物語**⇒和漢混淆文(わかんこんこうぶん)の隆盛

あ　**保元物語**(ほうげん)

い　**平治物語**(へいじ)

う　**平家物語**　（**信濃前司行長**(しなののぜんじゆきなが)？）

☆桓武平氏の興亡(こうぼう)を主題とした傑作(けっさく)。**琵琶法師**(びわ)により平曲(へいきょく)として語られたことにより，文字を読めない人々にも親しまれた。

え　源平盛衰記(じょうすい)

☆平家物語の異本(いほん)の一種？

②鎌倉文化の歴史・学問・思想（12世紀末～14世紀前半）

A　**水鏡**(みずかがみ)　（中山忠親(ただちか)）

大鏡以前，神武(じんむ)～仁明(にんみょう)天皇までを貴族の立場から描く。

B　**愚管抄**(ぐかんしょう)　**（慈円**(じえん)**〔**慈鎮(じちん)**〕⇒摂政・関白九条兼実**(かねざね)**の弟，天台座主**(てんだいざす)**）**

末法思想が全編を貫く**最古の歴史哲学書**。歴史を「**道理**(どうり)」の展開ととらえ，**後鳥羽上皇の討幕計画への諫言**(かんげん)とした。

C　百錬鈔(ひゃくれんしょう)

冷泉(れいぜい)～後深草天皇までを編年体で記す歴史書。

D　**吾妻鏡**(あづまかがみ)〔東鏡・東鑑〕

源平合戦から6代将軍宗尊親王帰京までの**鎌倉幕府の歴史**を，編年体の漢文**日記体**で記す。執権北条氏の立場を擁護(ようご)する傾向が著(いちじる)しい。

E　**元亨釈書**(げんこうしゃくしょ)　**（虎関師錬**(こかんしれん)**）**

☆元から渡来した一山一寧(いっさんいちねい)の日本人弟子が著した，**初の仏教史書**。

F　古典研究

あ　**万葉集註釈**(ちゅうしゃく)〔仙覚抄(せんがくしょう)〕**（仙覚）**

い　**釈日本紀**(しゃくにほんぎ)　**（卜部兼方**(うらべかねかた)**）**

☆最古の『日本書紀』注釈書。

G　**有職故実**

朝廷の儀式・年中行事・先例を研究。公家儀礼が有職，武家儀礼が故実と分ける場合もある。

あ　世俗浅深秘抄　（後鳥羽天皇）

い　**禁秘抄**　**（順徳天皇）**

H　**図書館**

金沢文庫　**（北条〔金沢〕実時）**

☆武蔵国称名寺の境内にある，**初の武家による私設図書館**。

Ⅰ　**宋学〔朱子学〕**の伝来

南宋の**朱熹〔朱子〕**が始めたもの。君臣の別を説く**大義名分論**は，後醍醐天皇の討幕運動の理論的支柱となった。

③南北朝文化の文芸・芸能（14世紀）

A　文芸

あ　和歌

新葉和歌集　（宗良親王）

☆南朝の皇族・貴族の和歌を集め，勅撰に準ぜられる。

い　**連歌**⇒公家・武家を問わず広く流行。

和歌を上の句と下の句に分け，一座の人々が次々に句を継いでいく共同作品。

菟玖波集　**（二条良基）**

☆北朝方の摂政・関白・太政大臣が編集した**最古の連歌集**。**準勅撰とされ，連歌が和歌と対等の地位を築く。**

応安新式　**（　〃　）**

☆**連歌の規則書**。

う　**五山文学**⇒**五山版**の出版

中正子　（中巌円月）

☆中巌円月は，元に留学経験のある漢詩文に優れた五山僧。

え　**軍記物語**

太平記　（小島法師？）

☆**南北朝の動乱を南朝の立場から記述**。のち「太平記読み」と呼ばれる講釈師らにより広く普及した。

曽我物語

☆曽我兄弟による仇討ち物語。

B　歴史⇒南北朝の動乱を反映し，歴史意識の高まりが見られる

あ　**神皇正統記**（じんのうしょうとうき）　**（北畠親房**（きたばたけちかふさ）**）**

神国（しんこく）**思想の立場（伊勢神道の影響）**から大義名分論に基づき記述。1339年，常陸国（ひたちのくに）小田城で完成。**南朝の正統性を主張**し，吉野で**後村上天皇に献上**（けんじょう）される。

☆北畠親房は『元元集』（げんげんしゅう）で伊勢神道についても著す。

い　**梅松論**（ばいしょうろん）

足利氏の政権獲得までの過程を，**北朝の立場から**比較的史実に忠実に記述。

う　**増鏡**（ますかがみ）

公家の立場から鎌倉時代を記述した歴史物語。**四鏡**（しきょう）**の最後**。

C　学問

あ　古典研究

河海抄（かかいしょう）　　（四辻善成（よつつじよしなり））

☆源氏物語の注釈書。

い　**有職故実**（ゆうそくこじつ）

建武年中（ねんじゅう）**行事（後醍醐天皇）**

職原抄（しょくげんしょう）　　**（北畠親房）**

う　武家子弟・庶民の学問

正平版論語　（道祐居士（どうゆうこじ））

☆堺の初の論語印刷本である『論語集解』（しっかい）の通称。

庭訓往来（ていきんおうらい）　　（玄恵（げんえ）？）

☆手紙文形式の往来物（おうらいもの）の代表。

D　能楽（のうがく）

多くの人を集め上演される。

E　**茶寄合**（ちゃよりあい）

公武を問わず，各地で賭け事として**闘茶**（とうちゃ）が流行。

☆闘茶は，茶や水の異同を飲み分けて賭け物を争う勝負事。

F　風俗

動乱で台頭した新興武士たちにより，伝統的権威を無視し傍若無人なふるまいをする「**バサラ〔婆娑羅〕**」の風潮が高揚（こうよう）。

☆「バサラ」は華美・贅沢を意味し，近江国の佐々木導誉（どうよ）〔高氏（たかうじ）〕らがバサラ大名として知られた。

④北山文化の文芸・芸能（14世紀末～15世紀前半）

A　文芸

あ　五山文学僧の活躍

空華集（くうげしゅう）　**（義堂周信（ぎどうしゅうしん））**

蕉堅稿（しょうけんこう）　**（絶海中津（ぜっかいちゅうしん））**

い　軍記物語

難（なん）太平記　（今川了俊（りょうしゅん）〔貞世（さだよ）〕）

☆足利尊氏挙兵以来の今川氏の活躍を述べ，太平記の誤りを指摘。

義経記（ぎけいき）

☆源義経の幼少期と末期の不遇（ふぐう）時代を同情的に描き，民衆的義経伝説の源泉となる。

B　芸能

あ　**能（のう）〔能楽〕**⇒散楽（さんがく）・猿楽（さるがく）・田楽（でんがく）から**猿楽能**が発達

興福寺を本所（ほんじょ）とした**大和（やまと）猿楽四座（しざ）**（結崎（ゆうさき）座〔のち**観世（かんぜ）座**〕・**宝生（ほうしょう）座**・**金春（こんぱる）座**・**金剛（こんごう）座**）が結成され，観世座から**観阿弥（かんあみ）**・**世阿弥（ぜあみ）**父子が出て，**３代将軍義満の保護を受け猿楽能を完成**した。のち，世阿弥の娘婿（むすめむこ）の金春禅竹（こんぱるぜんちく）が後継者として活躍した。

☆主要著書として，『**風姿花伝（ふうしかでん）〔花伝書〕**』『**花鏡（かきょう）**』（**世阿弥**），『**申楽談儀（さるがくだんぎ）**』（世阿弥の談話を子の観世元能（もとよし）が筆録，その他多数の謡曲（ようきょく）（＝能の脚本）がある。

い　**狂言（きょうげん）**

能の合間に演じられる，風刺性の強い庶民喜劇。大名・僧侶・山伏（やまぶし）など権威あるものを笑いの対象としたので，しばしば弾圧の対象となった。

⑤東山文化の文芸・芸能（15世紀後半）

A　文芸

あ　**古今伝授**(こきんでんじゅ)⇒古今和歌集の秘事口伝(ひじくでん)

東常縁(とうのつねより)**→飯尾宗祇**(いいおそうぎ)→→三条西実隆(さねたか)→細川幽斎(ゆうさい)〔藤孝(ふじたか)〕　（御所(ごしょ)伝授）

↓

→牡丹花肖柏(ぼたんかしょうはく)→饅頭屋宗二(まんじゅうやそうじ)〔林(りん)宗二〕（奈良伝授）

い　**連歌⇒飯尾宗祇**が**正風連歌**(しょうふう)を確立

新撰菟玖波集(しんせんつくばしゅう)　**（飯尾宗祇）⇒準勅撰**

水無瀬三吟百韻(みなせさんぎんひゃくいん)（**飯尾宗祇**・牡丹花肖柏・柴屋軒宗長(さいおくけんそうちょう)）

B　**御伽草子**(おとぎぞうし)⇒庶民層を対象とする通俗的(つうぞくてき)短編小説

酒呑童子(しゅてんどうじ)，文正草子(ぶんしょうぞうし)，福富草紙(ふくとみぞうし)，**物くさ太郎**，**一寸法師**(いっすんぼうし)，**浦島太郎**(うらしまたろう)，さるかに合戦など。

☆絵の余白に当時の話し言葉で書かれた形式のものが多く，読み物としてだけでなく，絵を見て楽しむこともできた。

C　学問・思想

あ　**一条兼良**(いちじょうかねよし)（関白・太政大臣）の活躍

『**公事根源**(くじこんげん)』　⇒有職故実書(ゆうそくこじつ)

『江次第抄(ごうしだいしょう)』　⇒大江匡房(おおえのまさふさ)の有職故実書『江家次第(ごうけしだい)』（院政期）を解説

『日本書紀纂疏(さんそ)』⇒日本書紀の研究

『**花鳥余情**(かちょうよせい)』　⇒源氏物語の注釈書

『**樵談治要**(しょうだんちよう)』　⇒**９代将軍義尚**(よしひさ)**への政治意見書**

『尺素往来(せきそ)』　⇒往来物

い　**足利学校（下野国**(しもつけのくに)**）**

関東管領上杉憲実(のりざね)**が再興**した漢学研究のための学校。戦国期には全国から禅僧・武士が集まり，宣教師ザビエルにより「**坂東の大学**(ばんどう)」として西洋に紹介された。

☆初代庠主(しょうしゅ)（校長）は快元。

う　武家子弟・都市商工業者・庶民の学問

いろは歌，童子教(どうじきょう)，実語教，**庭訓往来**(ていきんおうらい)，**御成敗式目**などが教科書として使用された。

D　**茶道**(さどう)**・花道**(かどう)・香道(こうどう)

あ　**茶道〔茶の湯〕**⇒茶と禅の精神の統一により**侘茶**(わびちゃ)が創出される

奈良の**村田珠光**(じゅこう)→堺の**武野紹鷗**(たけのじょうおう)→堺の**千利休**(せんのりきゅう)**〔宗易**(そうえき)**〕**と大成される。

い　**花道〔華道〕**　⇒同朋衆の立阿弥(りゅうあみ)らの**立花**(たてはな)から生花(いけばな)へ

京都頂法寺(ちょうほうじ)〔六角堂〕の**池坊専慶**(いけのぼうせんけい)ののち，専応→専好(せんこう)と大成される。

う　香道〔聞香(もんこう)〕

一定の作法の下で香木(こうぼく)を焚(た)き，香りを創出・判定することなどにより人格形成をはかる芸道。

E　芸能

あ　**小歌**(こうた)

『閑吟集(かんぎんしゅう)**』**が編纂される。当時の庶民生活を知る好史料。

い　古浄瑠璃(こじょうるり)

古い形態の浄瑠璃。現在は当時の音曲を失う。

う　幸若舞(こうわかまい)

桃井直詮(もものいなおあき)（幼名は幸若丸）が創始した曲舞(くせまい)の一種。

え　**盆踊り**(ぼんおどり)

風流(ふりゅう)**〔風流踊り〕**が念仏踊りと結びついて生まれた。

お　猿まわし・獅子舞(ししまい)

か　**祇園祭**(ぎおんまつり)**（京都）**

９世紀から行われた**祇園社〔八坂**(やさか)**神社〕**の御霊会(ごりょうえ)が起源。京都**町衆**(ちょうしゅう)の経済力・結束力により，応仁の乱後の1500年に再興。

⑥戦国期の文芸（15世紀末～16世紀半ば）

A　**文化の地方普及**

城下町の形成，応仁の乱による**公家・僧侶の地方疎開**，**連歌師**《れんがし》の地方遍歴《へんれき》などによる。

☆典型例＝**大内氏**の城下町周防国《すおうのくに》**山口**（西の京・小京都），大内版の出版。

B　文芸

あ　連歌

『**犬筑波集**《いぬつくばしゅう》』を編纂した**山崎宗鑑**《やまざきそうかん》や荒木田守武《あらきだもりたけ》らにより，滑稽《こっけい》や機知《きち》を基調とする**俳諧連歌**が確立される。

☆連歌師により諸国の各階層へも連歌が普及，公家の堂上《とうしょう》連歌に対し地下《じげ》連歌と呼ばれた。

い　五山文学

梅花無尽蔵《ばいかむじんぞう》（万里集九《ばんりしゅうく》）

☆中部・関東地方をめぐり，地方の人々と交流して優れた漢詩文を残した。

C　学問・思想

あ　**宋学〔朱子学〕**

薩南《さつなん》学派　　（**桂庵玄樹**《けいあんげんじゅ》）

☆肥後の菊池《きくち》氏・薩摩の島津氏に招かれ，薩摩で『大学章句《しょうく》』を刊行。

海南《かいなん》学派〔南学派〕（**南村梅軒**《みなみむらばいけん》）

☆**土佐**の吉良《きら》氏に招かれる。

い　医書

医書大全　　（阿佐井野宗瑞《あさいのそうずい》）⇒堺の医師

☆初の医学書，中国の医学書を翻訳《ほんやく》して刊行。

う　辞書

節用集《せつようしゅう》　　（饅頭屋宗二〔林《りん》宗二〕ら）⇒奈良の商人・文化人

☆国語辞書。

2　桃山～化政文化（近世）

①桃山文化の文芸・芸能（16世紀後半）

A　**慶長勅版〔慶長版本〕（後陽成天皇）**

朝鮮侵略時に**活字印刷術**（木活字・銅活字）が伝来，古活字本のはしりとなる。

B　**阿国歌舞伎**

出雲阿国が京都で**かぶき踊り**を開始。

☆のち**女歌舞伎**（禁止）⇒**若衆歌舞伎**（禁止）⇒**野郎歌舞伎**へと発展。

C　**人形浄瑠璃**

中国の元代につくられた三絃〔三線〕が琉球に伝わり蛇皮線となり，さらに日本に伝来し**三味線**となる。その三味線を伴奏に取り入れ，**浄瑠璃節**に**人形操り**が合体したものをいう。

D　**隆達節**〔隆達小歌〕

堺の商人**高三隆達**が節付けした小歌。

E　囲碁・将棋

本因坊算砂・大橋宗桂の活躍。

F　茶道

堺の**千利休〔宗易〕**により**侘茶**が完成。1587年，**豊臣秀吉**も**北野大茶湯〔北野大茶会〕**を開催するなど，茶の湯は大名や庶民のたしなみでもあった。

☆近世初期の茶人

町衆⇒千利休〔宗易〕，今井宗久，津田宗及の堺商人３名が「茶の三宗匠」。

武将⇒織田有楽斎，古田織部，小堀遠州など。

G　**キリシタン版〔天草版〕**⇒ローマ字本が主体

1590年，**宣教師ヴァリニャーニにより活字印刷機が伝来**。**『天草版平家物語』**『天草版伊曽保物語』『日葡辞書』などが，金属製の活字で出版された。

☆**南蛮文化**の代表的資料。

H　**外来語**の残存

カステラ，カッパ，カナリヤ，カボチャ，カルタ，コンペイトウ，シャボン，タバコ，テンプラ，バッテラ，パン，ボタンなど。

②寛永期の文芸・学問（17世紀前半）

A　**仮名草子**（かなぞうし）

現世否定的な教訓・道徳などを題材に，実用性・娯楽（ごらく）性に富む，通俗的（つうぞくてき）な絵入りの仮名書き小説。

あ　二人比丘尼（ににんびくに）　（**鈴木正三**（しょうさん））

☆曹洞宗の禅僧。島原の乱後，キリシタンの改宗に努める。世俗的職業に努力することを通して仏道修行もできると説いた。

い　東海道名所記（浅井了以（りょうい））

う　可笑記（かしょうき）　（如儡子（じょらいし））

B　**俳諧**

連歌の発句（ほっく）（五・七・五）が俳諧として独立。

あ　**貞門（ていもん）俳諧〔貞門派〕（松永貞徳（ていとく），京都）**

☆古典の素養に基づく優雅さと，用語の滑稽（こっけい）さを句風とする。

い　**談林（だんりん）俳諧〔談林派〕（西山宗因（そういん），大坂）**

☆形式化した貞門派に対し，より自由・平易な句風。上方の町人層に急速に普及した。

C　**朱子学〔宋学〕**

儒学の一派。君臣・父子の別をわきまえ，上下の秩序を重んじる封建（ほうけん）教学として幕府・藩に保護される。

あ　**藤原惺窩**（ふじわらせいか）

もと相国寺（しょうこくじ）の僧。還俗（げんぞく）して朱子学を禅宗から解放し，**京学**（きょうがく）の祖となる。徳川家康に請われ進講したが，仕官はせず京都に残った。

☆朝鮮を代表する儒学者李退渓（りたいけい）や，朝鮮侵略で日本へ連行された姜沆（きょうこう）に大きな影響を受けた。

い　**林羅山**（はやしらざん）**〔道春**（どうしゅん）**〕**

もと建仁寺（けんにんじ）の僧。藤原惺窩の門人となり，師の推薦で家康に登用され江戸に下る。４代にわたる将軍の侍講として，朱子学的思想で幕藩体制の身分秩序を正当化するなど，支配体制の整備に活躍。

☆幕府の学問・教育を代々担う**林家**（りんけ）の祖となり，上野忍ヶ岡（うえのしのぶがおか）に私塾弘文館（こうぶんかん）を開設。

③元禄文化の文芸・芸能（17世紀後半～18世紀初め）

A　**井原西鶴**

大坂の町人。西山宗因に学び談林俳諧で注目されたが，やがて仮名草子を発展させ**浮世草子**と呼ばれる風俗小説を確立。愛欲や金銭に執着しつつ，自らの才覚で「浮き世」を生きる人間の生々しい姿を写実的に描写。享楽的現世を大胆に肯定した。

あ　**好色物**⇒男女の好色生活を描く

『**好色一代男**』『好色一代女』『好色五人女』

い　**武家物**⇒武家社会を風刺的に描く

『**武道伝来記**』『**武家義理物語**』

う　**町人物**⇒町人の経済活動を描く

『**日本永代蔵**』『**世間胸算用**』

B　**松尾芭蕉**

伊賀国出身。貞門・談林俳諧を学んだ後，言葉の面白みではない「**さび・かるみ**・しおり・ほそみ」で示される幽玄閑寂の**蕉風**〔**正風**〕**俳諧**を確立。連歌の発句に過ぎなかった俳句を，独立した文学作品に高めた。向井去来ら**蕉門十哲**と呼ばれる弟子を輩出した。

あ　**俳諧紀行文**

『野ざらし紀行』『笈の小文』『**奥の細道**』

☆地方の農村・都市にも，芭蕉の一行を待ち受け支えた人々が存在した。

い　俳句集⇒俳諧七部集〔芭蕉七部集〕

『猿蓑』『冬の日』『春の日』『ひさご』など。

C　**近松門左衛門**

武士出身の**人形浄瑠璃・歌舞伎脚本家**。実話や歴史に題材を求め，「憂き世」における義理と人情の葛藤を鋭く描写。

あ　**世話物**〔**心中物**〕

『**曽根崎心中**』『**冥途の飛脚**』『**心中天網島**』など。

い　**時代物**

『**国性爺**（**国姓爺**）**合戦**』『出世景清』など。

D　**人形浄瑠璃**⇒現在の**文楽**の源流

近松門左衛門の作品は，語り＝**竹本義太夫**（**義太夫節**として独自に音曲化），人形遣い＝辰松八郎兵衛で，大坂の竹本座において空前の人気を誇った。

E　歌舞伎

能や狂言は公家・武家の世界にとどまったのに対し，江戸・上方には常設の**芝居小屋**(しばいごや)が置かれるようになり広く普及した。

☆女歌舞伎のち若衆歌舞伎も禁止され，成人男子の野郎歌舞伎となる。以後，演技中心に発展，女形(おやま)も登場し元禄歌舞伎の全盛を迎えた。

あ　**市川団十郎**(いちかわだんじゅうろう)（初代）

超人的な**荒事**(あらごと)を得意とし，**江戸**で活躍。

い　**坂田藤十郎**(さかたとうじゅうろう)（初代）

恋愛劇の**和事**(わごと)を得意とし，**上方**で活躍。

う　芳沢(よしざわ)あやめ（初代）

女形芸の大成者。遊女役を得意とし，上方で活躍。

④儒学の発達⇒文治政治の象徴

幕藩体制が安定期に入り，儒学が人々の社会における役割を説くものとして重視される。

☆とくに**朱子学**〔宋学〕は大義名分論など，上下の身分秩序や礼節を重視したため，幕府・諸藩に封建社会の**教学**として手厚く保護された。

A　朱子学派⇒京学

あ　**林鵞峰〔春斎〕**　⇒父の羅山を継ぎ編年体の**歴史書『本朝通鑑』を完成**。

い　**林鳳岡〔信篤〕**　⇒５代綱吉の信任を受け，初代**大学頭**となる。

う　石川丈山

え　**松永尺五**　⇒貞門俳諧の創始者松永貞徳の子。

お　**木下順庵**　⇒**加賀藩主前田綱紀，のち５代将軍綱吉に仕える。**

☆木門十哲と呼ばれる弟子を輩出した。

か　**新井白石**　⇒**６代家宣・７代家継の侍講**として**正徳の政治**を展開。

☆**『読史余論』『古史通』『藩翰譜』『折たく柴の記』**を著す。

き　**雨森芳洲**　⇒**対馬藩宗氏に仕え**，朝鮮通信使問題で新井白石と対立。

く　**室鳩巣**　⇒**加賀藩主前田綱紀，のち８代吉宗に仕える。**

☆**『六諭衍義大意』**『兼山麗沢秘策』『駿台雑話』を著す。

B　**朱子学派⇒南学〔海南学派〕**

あ　**谷時中**　⇒**土佐**で南村梅軒を継承し，**南学を確立**。

い　**野中兼山**　⇒谷時中に学び，土佐藩家老として藩政を主導。

う　**山崎闇斎**　⇒谷時中に学び，江戸で**会津藩主保科正之**に献策する。

吉川惟足に吉川神道を学び朱子学と結合，道徳性の強い**垂加神道**を唱える。

☆神の道と天皇の徳が一体であることを解くことから，山崎闇斎一門の「崎門学」は，幕末の尊王論の根拠ともなった。

☆高弟の**佐藤直方**や浅見絅斎らは，神道に傾倒する師に反対し破門された。

C　**陽明学派**

明の**王陽明**が創始。朱子学の知識偏重を批判，実践を重視し「**知行合一**」を説いた。

時世批判の傾向が強く，幕府から警戒された。

あ　**中江藤樹**　⇒もと大洲藩（伊予国）の朱子学者。**日本陽明学の祖**。故郷の近江国に戻り私塾**藤樹書院**を開設，「近江聖人」と呼ばれた。

☆『翁問答』などを著す。

い　**熊沢蕃山〔了介〕**⇒中江藤樹に学んだ後，**池田光政に仕え岡山藩家老となり**，治山治水事業に実績を上げる。最古の私塾**花畠教場**も開設。

☆経済政策書『**大学或問**』で，武士の土着や参勤交代の緩和を主張し幕政を批判。**幕府により下総国古河に幽閉される。**

D　**古学派**

孔子・孟子への復帰を主張し，原典の実証・典拠を重視。朱子学を批判した。

あ　**山鹿素行**　⇒独自に「**聖学**」を唱え朱子学を攻撃，幕府により播磨国赤穂に流される。

☆『**聖教要録**』『**中朝事実**』『**武家事紀**』を著す。

☆「**士道**」**の大成者**としても有名。

い　**伊藤仁斎・東涯**⇒**京都**堀川に私塾**古義堂〔堀川塾〕**を開設し，**古義学派〔堀川学派〕**を創始。

☆父の仁斎は『論語古義』『孟子古義』『童子問』，子の東涯は『制度通』などを著す。

う　**荻生徂徠**　⇒**江戸**に私塾**蘐園塾**を開設し，**古文辞学派〔蘐園学派〕**を創始。**柳沢吉保のち８代吉宗に仕える。**

☆吉宗の諮問に答え『**政談**』を献じ，統治の具体策を説く**経世論**を展開。他の著書に『弁道』など。

え　**太宰春台**　⇒師の荻生徂徠の経世論を継承・発展させ，『**経済録**』『**経済録拾遺**』を著す。

お　服部南郭　⇒荻生徂徠の門下。漢詩文に優れる。

E　**折衷学派**

漢・唐・宋・明代の諸学説を選択・折衷して正しい解釈に達しようとする学派。

☆片山兼山・井上金峨らが唱え，田沼時代に流行した。

F　**考証学派**

経書の解釈を，一定の思想的立場から行うのではなく，確実な典拠に基づき実証的かつ客観的に行おうとする学派。清代考証学の影響が強い。

☆江戸時代後期に盛んとなり，その文献考証の方法は，国学や歴史学に多大な影響を与えた。

⑤江戸時代中期の諸学問の発達

儒学の発達が，合理的で現実的な考えという点で他の学問にも大きな影響を与えた。

A　**歴史学**

あ　**林家**　⇒**林羅山**・**鵞峰**父子が，幕命により『**本朝通鑑**』を編纂。
☆北宋の『資治通鑑』にならった編年体の歴史書。

い　**水戸藩**　⇒**徳川光圀**が明から**朱舜水**を招き，江戸の**彰考館**で神武～後小松天皇を**紀伝体**で著す『**大日本史**』を編纂。明治期の1906年完成。

う　**新井白石**　⇒『**読史余論**』『**古史通**』『**藩翰譜**』を著す。

B　**本草学**

中国から伝わった薬学。のち博物学的色彩を強め物産学に発展。

あ　**貝原益軒**　⇒『**大和本草**』を著す。朱子学者でもあり，道徳書『**和俗童子訓**』や養生書の『養生訓』も有名。

い　**稲生若水**　⇒**加賀藩主前田綱紀に仕え**，『**庶物類纂**』を著す（死後に完成）。

C　**農学**

宮崎安貞が著した初の本格的農書『**農業全書**』が広く普及する。
☆明の徐光啓が編んだ『農政全書』の影響を受ける。

D　**和算**

測量・商取引などの必要から発達した日本独自の数学。算額を神社仏閣に掲げ，奉納することも広まった。

あ　**吉田光由**　⇒和算・算盤の普及に功績があった。『**塵劫記**』を著す。

い　**関孝和**　⇒筆算式代数学・円理の創始などに多大な業績をあげた。『**発微算法**』を著す。

E　**天文・暦学**

1684年，**安井算哲〔渋川春海〕**が，元の授時暦をもとに唐の宣命暦を修正。日本独自の**貞享暦**を完成し，幕府の**天文方**に任命される。

F　**医学**

古医方(こいほう)という，理論より実践中心であった漢代の影響を受けた漢方医学の創始。

あ　名古屋玄医(げんい)⇒日本における古医方の先駆者。京都の医師。

い　山脇東洋(やまわきとうよう)　⇒18世紀半ば，初めて腑分(ふわ)け（死体の解剖）を行い，初の解剖図録『**蔵志**(ぞうし)』を著す。京都の医師。

G　**洋学**の先駆

あ　**西川如見**(じょけん)　⇒**長崎**の天文・地理学者。『**華夷通商考**(かいつうしょうこう)』を著す。

☆8代将軍吉宗に招かれ江戸に下る。

い　**新井白石**　⇒**屋久島**(やくしま)に潜入したイエズス会の**イタリア人宣教師シドッチ**を尋問(じんもん)し，『**采覧異言**(さいらんいげん)』『**西洋紀聞**』を著す。

H　国文学の研究⇒のち**国学**へと成長

あ　**北村季吟**(きぎん)　⇒幕府の**歌学方**。『**源氏物語湖月抄**(こげつしょう)』などを著す。

い　**戸田茂睡**(もすい)　⇒古今伝授(こきんでんじゅ)や制(せい)の詞(ことば)（＝和歌に使えない言葉）など，中世歌学の伝統を排除。『**梨本集**(なしもと)』を著す。

う　**契沖**(けいちゅう)　⇒下河辺長流(しもこうべちょうりゅう)の影響を受け，徳川光圀(みつくに)（水戸藩）の依頼で『**万葉代匠記**(まんようだいしょうき)』を著す。

⑥国学の発達（18世紀～19世紀前半）

古学派の研究法や歌学の刷新運動，**神道思想**などが源流となり発達。各地の神官・豪農・豪商に広まった。儒教・仏教などの外来思想を批判，『古事記』『日本書紀』などを研究し，古代人の生活・思想である**古道**（＝日本古来の道）を理想化する復古主義をとった。

A　**荷田春満**（享保期）

『**創学校啓**』を著し，京都から江戸に下り８代将軍吉宗に提出。

B　**賀茂真淵**（宝暦期）

荷田春満に師事。『**国意考**』『**万葉考**』などを著し，万葉集に“高く直き心”を見出した。

C　**本居宣長**（天明・寛政期）

伊勢国松坂の医師で，**賀茂真淵に師事**。“漢心”を捨て“真心”に生きることを重視し，“惟神の道”を説いた。

☆『**古事記伝**』『**源氏物語玉小櫛**』『玉くしげ』『秘本玉くしげ』『玉勝間』『うひ山ぶみ〔宇比山踏〕』などを著した。

☆自宅に私塾「鈴屋」を設立。

D　**塙保己一**（寛政期）

賀茂真淵に師事した盲目の学者。古典の収集・保存に心がけ，幕府の援助を受けて江戸に**和学講談所**を設立，『**群書類従**』を編纂した。

☆のちの国史学・国文学の基礎を築いた。

E　**平田篤胤**（天保期）

本居宣長の没後門人を自称。神道と国学を融合して**復古神道**を唱え，民族主義・国粋主義的傾向を強めた。

☆復古神道は，篤胤の死後，弟子たちにより各地の神官・豪農・豪商に広まり，**幕末の尊王攘夷運動に絶大な影響を与えた。**

F　**伴信友**

国史・国文学を収録した『比古婆衣』や，大友皇子を書いた『長等の山風』などを著す。

⑦洋学〔蘭学〕の発達

実学奨励策をとる**８代将軍吉宗が，漢訳洋書輸入の禁を緩和(1720年)**。さらに**青木昆陽・野呂元丈にオランダ語を習得させる。**

A　洋学の発達

あ　**『解体新書』**(**杉田玄白・前野良沢**・中川淳庵・桂川甫周)

☆ドイツ人クルムスの著した『解剖図譜』の蘭訳本『ターヘル＝アナトミア』を翻訳して1774年に刊行。

い　**『蘭学事始』**　(**杉田玄白**，『解体新書』訳述の回想録)

う　**『蘭学階梯』**　(**大槻玄沢**)

☆杉田玄白・前野良沢の弟子が著した蘭学入門書。

え　**『西説内科撰要』**　(**宇田川玄随**，オランダ内科書の翻訳)

お　**『ハルマ〔波留麻〕和解』**　(**稲村三伯**)

☆大槻玄沢の弟子が著した**初の蘭日辞書**。いわゆる「江戸ハルマ」。

か　**平賀源内**の研究

長崎で学んだ科学の知識をもとに，**エレキテル(摩擦発電器)**，**寒暖計**，火浣布(不燃性の布)などを発明。

☆戯作者としては福内鬼外と名乗る。

B　洋学の展開

あ　**『寛政暦』**　(天文方の**高橋至時**，西洋暦を取り入れ作成)

い　**『暦象新書』**　(**志筑忠雄**，地動説や万有引力説を紹介)

う　**『大日本沿海輿地全図』**　(**伊能忠敬，1821年完成**)

C　幕府の洋学統制

西洋文明の移入は医学・兵学・地理学などの科学技術に限定され，実学としての性格が強くなった。

あ　**シーボルト事件(1828年)**

国禁であった日本地図の持ち出し未遂。オランダ商館の**ドイツ人医師シーボルト**は国外追放，天文方の**高橋景保**は獄死。

☆シーボルトには『**日本**』などの著書がある。

い　**蛮社の獄**　**(1839年)**

モリソン号事件(1837年)を契機とする幕政批判などを理由に，**尚歯会〔蛮学社中〕**の蘭学者に弾圧を加える。『**慎機論**』の**渡辺崋山**，『**戊戌夢物語**』の**高野長英**らを処罰，小関三英は自害した。

⑧思想の発達

A　政治・社会思想の発達

あ　町人道徳の登場　　　　(18世紀前半～)

享保期，**京都**の**石田梅岩**が，商人を中心とする庶民の生活倫理として**心学〔石門心学〕**を唱え，『**都鄙問答**』を著す。

☆儒教道徳に仏教や神道の教えを加味。弟子の**手島堵庵（京都）**やその弟子**中沢道二（江戸）**が全国に広める。

い　幕藩体制批判思想の出現(18世紀半ば～)

『**自然真営道**』『統道真伝』(陸奥国八戸の医師**安藤昌益**)

☆“万人直耕の自然世”を理想とし，身分制社会を鋭く批判。

う　**経世論**の発達　　　　(19世紀～)

『**稽古談**』『経済談』　　　**(海保青陵)** ⇒藩重商主義

『**西域物語**』『**経世秘策**』　**(本多利明)** ⇒貿易論・蝦夷地などの開発論

『**経済要録**』『**農政本論**』『宇内混同秘策』**(佐藤信淵)**

⇒産業国営化・貿易論

B　**尊王思想**の発達

当時の尊王思想は「将軍が天皇の委任により政権を預かる」と捉え，一般に幕府を否定するものではなく，朝廷を尊ぶことにより幕府の権威を護ろうとするものが多かった。

あ　尊王思想の発生

水戸藩の前期**水戸学**，山崎闇斎(朱子学者〔南学〕)の垂加神道。

☆水戸学は朱子学を軸に神道・国学を統合し，天皇崇拝と封建秩序の確立を説いた。

い　**尊王事件**の発生

宝暦事件(1758年，竹内式部)

☆**京都**で神道家が追放される。

明和事件(1767年，山県大弐)

☆**江戸**で『**柳子新論**』を著し幕政を批判した兵学者が死罪となる。竹内式部も連坐し八丈島へ流罪となる。

う　**尊王論**の普及

高山彦九郎，蒲生君平(『山陵志』の著者)，**頼山陽**(『**日本外史**』の著者)など。

え　幕末の**尊王攘夷運動**への影響

平田篤胤の復古神道

☆篤胤の死後，とくに中部地方・関東地方中心に広まる。

水戸藩主徳川斉昭のもとでの**後期水戸学**

☆藤田幽谷，**藤田東湖**(『**弘道館記述義**』の著者)，**会沢安〔正志斎〕**(『**新論**』の著者)など。

松尾多勢子ら女性の運動家

お　幕末の**和魂洋才**思想

横井楠南(熊本藩士)，佐久間象山(松代藩士)，**吉田松陰(長州藩士)**らが唱える。

☆佐久間象山は「東洋道徳，西洋芸術」，吉田松陰は松下村塾で一君万民論を唱える。

C　哲学的思想の登場

三浦梅園が『玄語』で自然哲学を説き，“条理学”を唱える。

☆儒学と洋学の知識を合わせる。

⑨化政文学（18世紀後半～19世紀前半）

元禄文学に比べ，より通俗的で，政治・社会に題材をとる傾向がある（人間性は深く掘り下げない＝**戯作**）。三都の本屋の旺盛な出版活動と，**貸本屋**の増加により，庶民にも読書の習慣が広まった。

A　**小説**

あ　草双紙〔子供向けの赤本⇒大人向けの黒本・青本〕⇒挿し絵で引きつける

い　**黄表紙**⇒風刺・滑稽を基調とする通俗的絵入り小説
　『鸚鵡返文武二道』『**金々先生栄花夢**』（**恋川春町**）⇒**寛政の改革で弾圧**
　『**江戸生艶気樺焼**』（**山東京伝**）

う　**洒落本**⇒遊里を題材とする絵入り短編小説
　『**仕懸文庫**』（**山東京伝**）　⇒**寛政の改革で弾圧**
　☆版元の**耕書堂**経営者**蔦屋重三郎**も財産の半分を没収される。

え　**読本**⇒歴史・伝説を題材とした文章主体の小説
　『**雨月物語**』（**上田秋成**）　⇒**大坂**，前期読本
　☆日本・中国の古典から着想した怪異・怪奇小説集。
　『**南総里見八犬伝**』『**椿説弓張月**』（**曲亭〔滝沢〕馬琴**）⇒**江戸**，後期読本
　☆“勧善懲悪”“因果応報”を主題とする長編小説。

お　**滑稽本**⇒滑稽・笑いを基調とする絵入り小説
　『**東海道中膝栗毛**』（**十返舎一九**）⇒弥次郎兵衛と喜多八の旅行記
　『**浮世風呂**』『**浮世床**』（**式亭三馬**）

か　**合巻**⇒数冊の黄表紙を綴じ合わせたもの
　『**偐紫田舎源氏**』（**柳亭種彦**）　⇒**天保の改革で弾圧**
　☆正体は江戸の旗本。

き　**人情本**⇒恋愛を主題とした絵入り小説
　『**春色梅児誉美**』（**為永春水**）　⇒**天保の改革で弾圧**

B　**随筆**

『**北越雪譜**』（**鈴木牧之**）

☆越後国の農村で雪国の自然や生活を描写。山東京伝・曲亭〔滝沢〕馬琴ら江戸の文化人の交流でも有名。

C　脚本

あ　人形浄瑠璃

歌舞伎に圧倒され低調化，一中節・常磐津節・清元節・新内節などの唄浄瑠璃〔座敷浄瑠璃〕へと転化していった。

『仮名手本忠臣蔵』『菅原伝授手習鑑』『義経千本桜』（２世**竹田出雲**ら）

『本朝廿四孝』（**近松半二**ら）

い　歌舞伎

庶民生活を扱う生世話物が流行。並木正三が人形浄瑠璃の技法を取り入れて花道・せり出し・廻り舞台などを考案，**芝居小屋**は大人気となる。

☆寛政期には中村座・市村座・森田座（のち守田座）の江戸三座が栄えた。

『東海道四谷怪談』　（４世**鶴屋南北**〔大南北〕）

『三人吉三廓初買』　**（河竹黙阿弥）**⇒幕末期にかけての**白浪物**の名手

D　詩歌

あ　俳諧

『蕪村七部集』（蕪村〔与謝蕪村〕）⇒京都，写実的な句を詠む

『おらが春』　**（一茶〔小林一茶〕）**⇒信濃国

い　川柳

機知に富んだ表現で人情・世相・風俗を詠む，滑稽・風刺を基調とした俳諧。

☆**『誹風柳多留』（柄井川柳ら）**

う　和歌

万葉調　　**賀茂真淵**，田安宗武，加藤千蔭ら

古今調　　**香川景樹**⇒**桂園派**

新古今調　村田春海

生活歌　　**良寛**

☆越後国の僧，独自の歌を詠む。

え　狂歌

機知に富んだ表現で人情・世相・風俗を詠む，滑稽・風刺を基調とした和歌。

☆**大田南畝**〔**蜀山人**・四方赤良〕と朱楽菅公が**『万載狂歌集』**を編集。他に**石川雅望**〔**宿屋飯盛**〕ら。

⑩生活と信仰

A　三都・城下町の娯楽

芝居小屋，**見世物小屋**，**寄席**，**勧進相撲**，湯屋〔銭湯〕，髪結床，遊里〔遊郭〕，**瓦版**〔**よみうり**〕，名所図会，道中記など。

※寄席では**落語**や**講釈**〔**講談**〕が行われた。

B　農村・在郷町の娯楽

村芝居〔地芝居〕，猿まわし，獅子舞，万歳，瞽女や座頭の歌など。

C　**寺社参詣**の流行

あ　寺社の世俗化

縁日，**開帳**・出開帳，**富突**〔**富くじ**〕など。

い　旅の流行

参詣だけでなく，湯治，物見遊山など。

☆『**菅江真澄遊覧記**』は，三河国の国学者が約40年にわたり東北各地を旅してまとめたもの。

う　寺社参詣の例

伊勢神宮（**伊勢国**，内宮・外宮への**御蔭参り**），善光寺（信濃国），金毘羅宮〔金刀比羅宮〕（讃岐国），成田不動（下総国）など。

え　聖地・霊場への**巡礼**

四国八十八カ所（弘法大師〔空海〕信仰），**西国三十三カ所**（観音信仰）など。

D　民間行事

あ　**五節句**（人日・上巳・端午・七夕・重陽），彼岸会，盂蘭盆会など。

い　**日待**・**月待**・**庚申講**・富士講など。

☆各地に庚申塔〔庚申塚〕がつくられた。

第３講　文学史③（近代・現代）

1　幕末〜大正・昭和初期の文化（近代）

①西洋思想の流入（明治10年代まで）

文明開化の風潮の下，従来の儒教・神道による考えや古い習慣が時代遅れとして排斥される。

☆西洋近代思想が流行し，**啓蒙思想家**たちによって**天賦人権の思想**が唱えられた。

A　**明六社**の結成（**1873年**）⇒**『明六雑誌』**（1874〜75年）

英米留学から帰国した**森有礼**を社長に，**加藤弘之・西周**・津田真道・**西村茂樹・福沢諭吉・中村正直**らの洋学者が啓蒙思想を導入。演説会を開き封建思想の排除と近代思想の普及に努めた。

B　**ドイツ流国家主義**⇒保守的**国権論（政府系）**

あ　**加藤弘之**

『真政大意』『国体新論』で天賦人権論を紹介し，国民の利益を主張する民権論の立場に立った。しかし，優勝劣敗を説くスペンサー（英）の社会進化論の影響を受け，**『人権新説』**を著して国家の利益を優先する**国権論へ変説。**

い　**西周**

1862年，文久の改革でオランダに留学し，帰国後に『万国公法』を翻訳。のち軍人訓戒（1878年）や軍人勅諭（1882年）を起草。

☆「哲学」「理性」「主観・客観」などの哲学用語を案出したことでも有名。

う　津田真道

西周とともにオランダに留学し，帰国後に初の西洋法学書『泰西国法論』を翻訳。

え　**西村茂樹**

皇室崇拝を中心とした新たな国民道徳の確立に尽力し，**『日本道徳論』**を著す。

C　**イギリス流功利主義思想**⇒漸進的**民権論（立憲改進党系）**

あ　**福沢諭吉**

豊前国中津藩出身。大坂に出て緒方洪庵の適塾〔適々斎塾〕に学び，３度にわたり欧米を巡歴。1868年には慶應義塾を創設した。著書『**西洋事情**』『**学問のすゝめ**』『**文明論之概略**』『福翁自伝』など。

☆1885年には新聞『時事新報』紙上で**脱亜論**を発表し，国権論を唱えた。

い　**中村正直**〔敬宇〕

幕臣としてイギリスに留学し，個人主義道徳を日本に紹介。著書『**西国立志編**』（スマイルズ『自助論』の翻訳），『**自由之理**』（ミル『自由論』の翻訳）。

D　**フランス流自由主義**⇒急進的**民権論（自由党系）**

あ　**中江兆民**⇒**“東洋のルソー”**

土佐藩出身。岩倉使節団に同乗しフランス留学。帰国後，西園寺公望社主の『東洋自由新聞』主筆となり，のち自由党員として自由民権運動を牽引する。著書『**民約訳解**』**（ルソー「社会契約論」の翻訳）**，『三酔人経綸問答』『一年有半』など。

い　**植木枝盛**

土佐藩出身。立志社に加わり，のち自由党員として自由民権運動を牽引した。著書『**民権自由論**』『天賦人権弁』など。

う　馬場辰猪

土佐藩出身。のち自由党幹部となるが，板垣退助らの外遊問題に反対し脱党し，国権論者となった。著書『天賦人権論』など。

え　**大井憲太郎**〔馬城台次郎〕

国会の早期開設を唱え，時期尚早とする加藤弘之と“民撰議院論争”を展開。

☆自由党左派として活躍するが，のち1885年の大坂事件で収監されるなど，国権論を唱える。

②国家主義思想の台頭（明治20年代～）

日清戦争勝利の自信と三国干渉への憤激が，対外膨張の**国家主義**〔ナショナリズム〕（＝右翼思想）へと向かわせた。

A　**平民主義〔平民的欧化主義〕**⇒政府による貴族的欧化主義に反発

徳富蘇峰らの**民友社**による**雑誌『国民之友』**（のち『**国民新聞**』に吸収）。

☆『新日本之青年』『将来之日本』を著すが，日清戦争開戦と同時に『大日本膨張論』で**国家主義**に変節，以後『近世日本国民史』100巻の執筆をライフワークとした。

B　**国粋主義〔国粋保存主義〕**⇒日本的な伝統・美意識を強調

三宅雪嶺，**志賀重昂**，**杉浦重剛**らの**政教社**による**雑誌『日本人』**（のち『日本及日本人』と改称）。

☆三宅雪嶺は『真善美日本人』，志賀重昂は『日本風景論』の著者。

C　**国民主義**⇒国民の統一と公共の利益を説く

陸羯南らの**新聞『日本』**。

D　**日本主義**⇒古来の伝統を重視し国民精神の発揚を唱える

高山樗牛・井上哲次郎らが博文館の**総合雑誌『太陽』**誌上などで展開。日本の大陸進出を肯定した。

☆高山樗牛は歴史小説『滝口入道』の著者。

③反国家主義思想の成長（明治30年代～）

A　国家主義思想の低迷と強化

日露戦争勝利による国家目標の実現≠生活の向上という実感。

☆この前後，第一高等学校生藤村操（みさお）の投身自殺（1903年，日光華厳（けごん）の滝）など，煩悶（はんもん）する青年を生み出す。

☆町・村や個人の実利追求の風潮の高まりに対し，第二次桂太郎内閣は勤倹節約と皇室の尊重を国民に求める**戊申詔書**（ぼしんしょうしょ）を発し，列強の一員としての日本を支えるための道徳強化に努めた（**1908年**）。

☆1909年には内務省を中心に地方改良運動を開始，疲弊した地方の財政再建・農業振興・民心向上をはかった。⇒青年会・在郷軍人会が中心となる。

B　**社会主義**思想（＝左翼思想）の成長

安部磯雄・片山潜（右派）や，**堺利彦・幸徳秋水**（左派）ら。

C　**社会運動**の発生

労働争議・小作争議などの増加。

④明治期の人文科学

A　哲学

西周（にしあまね）・井上哲次郎ら

☆井上は『教育と宗教の衝突』を著し，**内村鑑三不敬事件**（1891年）でキリスト教を批判。

B　日本文学

芳賀矢一（はがやいち）・藤岡作太郎ら

☆芳賀は晩年に國學院大學（こくがくいんだいがく）学長となる。

C　**日本史学**

東京大学に**史料編纂掛**（がかり）が設置され，『**大日本史料**』や『大日本古文書（こもんじょ）』を編纂。

あ　**田口卯吉**（たぐちうきち）⇒『東京経済雑誌』を創刊するなど経済学者としても活躍

☆ギゾー（仏）らの文明史観の影響を受け，『**日本開化小史**』を著す。

い　**久米邦武**（くにたけ）⇒岩倉使節団に同行し『（特命全権大使）米欧回覧実記』を編集

☆論文『**神道**（しんとう）**は祭天**（さいてん）**の古俗**（こぞく）』を発表，帝国大学を追われる（1891～92年，久米事件）。

D　東洋史学

那珂通世（なかみちよ）が創始

⑤明治時代の文学

A　**戯作文学**

文明開化期，勧善懲悪主義や滑稽本など江戸文学の延長。

あ　**仮名垣魯文**　『**安愚楽鍋**』『西洋道中膝栗毛』

い　成島柳北　『柳橋新誌』

☆朝野新聞の社長。

B　翻訳小説

明治10年代，西欧への憧れや関心から，人気作品の翻案が流行。

C　**政治小説**

明治10年代，自由民権運動宣伝の小説。政府の弾圧を受け，流行は長くは続かなかった。

あ　**矢野龍溪〔文雄〕**　『**経国美談**』

い　**東海散士**〔柴四郎〕『**佳人之奇遇**』

う　**末広鉄腸**　『**雪中梅**』

D　**写実主義**

明治20年前後，小説改良運動が進み西欧リアリズムを移入。人情・世相をあるがままに描写。

あ　**坪内逍遙**　評論『**小説神髄**』，**小説**『**当世書生気質**』，戯曲『桐一葉』

☆雑誌『早稲田文学』を創刊し，森鷗外と「没理想論争」を展開。

い　**二葉亭四迷**　評論『小説総論』，**小説**『**浮雲**』，翻訳『あひびき』（ツルゲーネフ）

☆**言文一致運動**「だ」調。

う　**尾崎紅葉**　『**金色夜叉**』（読売新聞に連載，未完）『多情多恨』

☆**言文一致運動**「である」調。**硯友社**を結成し，**初の文学雑誌**『**我楽多文庫**』を創刊。華麗な美文体で幸田露伴と人気を二分し，**擬古典主義**の「紅露時代」と称される。

え　**山田美妙**　『**夏木立**』『胡蝶』

☆言文一致運動「です」調。研友社で尾崎紅葉と行動を共にする。

お　**幸田露伴**　『**五重塔**』『風流仏』

☆東洋思想に基づく**理想主義**的な作風。尾崎紅葉と人気を二分し，**擬古典主義**の「紅露時代」と称される。

E　ロマン〔浪漫〕主義

日清戦争前後。感情の優位を強調し，恋愛や空想を重んじる。自我個性の尊重と解放を主張。

あ　**森鷗外**　『**舞姫**』『うたかたの記』，翻訳『**即興詩人**』(アンデルセン)
☆ドイツに留学した陸軍医。

い　**北村透谷**　評論『内部生命論』『厭世詩家と女性』
☆**雑誌『文学界』**を創刊したキリスト教徒。

う　**樋口一葉**　『**たけくらべ**』『**にごりえ**』
☆東京下町の女性をロマン的に描く**女流作家**。

え　**泉鏡花**　『**高野聖**』『婦系図』『歌行燈』『外科室』
☆尾崎紅葉の門人。主題を明確に著した観念小説の名手でもある。

F　社会小説

日露戦争前後，社会問題を扱う。観念小説や深刻〔悲惨〕小説も流行。

あ　**徳冨蘆花**　『**不如帰**』『思出の記』，随筆『自然と人生』
☆キリスト教徒でもある徳富蘇峰の弟。ロマン主義的作風も有する。1911年，大逆事件の判決後，第一高等学校で行った『謀叛論』講演でも有名。

い　木下尚江　『火の柱』
☆キリスト教徒でもある社会主義者。

う　広津柳浪　『黒蜥蜴』
☆深刻小説の代表作。

G　自然主義

日露戦争前後，自然科学やフランス・ロシア文学の影響を受け，人間の暗い現実をありのまま写し出す。

☆のち私小説へ発展。

あ　**島崎藤村**　『**破戒**』『**夜明け前**』
☆当初はロマン主義的作風。

い　**田山花袋**　『**蒲団**』『田舎教師』

う　**国木田独歩**　『**武蔵野**』『**牛肉と馬鈴薯**』
☆当初はロマン主義的作風。

え　**徳田秋声**　『**黴**』『**あらくれ**』

お　**正宗白鳥**　『**何処へ**』

か　**長塚節**（たかし）　**『土』**

☆正岡子規の門人（もんじん），アララギ派の歌人でもある。

H　**二大文豪**⇒余裕派〔高踏派（こうとう）〕

明治時代末期以降，時流にとらわれない超然（ちょうぜん）とした立場をとり，近代的自我の確立を目指す。

あ　**夏目漱石**（なつめそうせき）　**『吾輩（わがはい）は猫である』『坊つちゃん』**『草枕』**『三四郎』『それから』**
『門』『彼岸過迄（ひがんすぎまで）』『行人（こうじん）』**『こころ』**『道草』『明暗』（未完）

☆自己本位に基づいて生きる個人主義を主張。“則天去私（そくてんきょし）”の境地を目指す。

い　**森鷗外**　**『青年』**『雁（がん）』**『阿部一族』『山椒大夫（さんしょうだゆう）』**『高瀬舟』『渋江抽斎（しぶえちゅうさい）』

☆反自然主義の雑誌『スバル』で指導的役割を果たし，のちに歴史小説や史伝に移行。

☆独自の個人主義である“諦念（ていねん）〔レジグナチオン〕”を説いた。

I　**近代詩の確立**⇒新体詩の始まり

あ　外山正一（とやままさかず）ら　『新体詩抄』

い　森鷗外　訳詩集『於母影（おもかげ）』

う　**島崎藤村**（とうそん）　**『若菜集』**

☆ロマン〔浪漫〕主義の詩集。

え　土井晩翠（どいばんすい）　『天地有情（うじょう）』

☆『荒城（こうじょう）の月』などを収録。

お　**上田敏**（びん）　訳詩集**『海潮音（かいちょうおん）』**

か　薄田泣菫（すすきだりゅうきん）　『白羊宮（はくようきゅう）』

き　蒲原有明（かんばらありあけ）　『有明集』

く　**北原白秋**（きたはらはくしゅう）　『邪宗門（じゃしゅうもん）』『思ひ出』

☆ロマン〔浪漫〕主義の詩集。

け　三木露風（みきろふう）　『廃園』

J　近代短歌の確立

あ　**与謝野晶子**　**雑誌『明星』，歌集『みだれ髪』**
☆ロマン〔浪漫〕主義。**与謝野鉄幹**を慕い**新詩社**に入社し結婚に持ち込む。

い　**石川啄木**　**歌集『一握の砂』**『悲しき玩具』，詩集『呼子と口笛』，**評論『時代閉塞の現状』**
☆雑誌『明星』に参加。ロマン〔浪漫〕主義のち社会主義者。

う　北原白秋　歌集『桐の花』
☆雑誌『明星』に参加。ロマン〔浪漫〕主義。

え　若山牧水　『海の声』

お　**正岡子規**　**歌論『歌よみに与ふる書』**
☆根岸短歌会を主催し短歌革新運動を推進。万葉調の復活と古今調の否定，写生描写を主張。
☆闘病記『墨汁一滴』**『病牀六尺』**も有名。

か　**伊藤左千夫**　**短歌雑誌**『馬酔木』**『アララギ』**を創刊
☆正岡子規の門人として島木赤彦・斎藤茂吉らを育てる。小説『野菊の墓』も有名。

K　近代俳句の確立

あ　**正岡子規**　門人の**高浜虚子**を中心に**俳句雑誌『ホトトギス』**に協力。
☆写生に基づく俳句革新運動を推進。

い　河東碧梧桐　正岡子規の門人であったが，その死後に高浜虚子と対立。
☆自由に個性を発揮する新傾向俳句・自由律俳句を提唱。

⑥明治時代の演劇・音楽

A　**歌舞伎**

政府の欧化主義に対応し，明治前期に演劇改良運動が起き，当時は混乱。

あ　脚本家

幕末から続く**河竹黙阿弥**の活躍⇒散切物・活歴物

☆のち福地桜痴〔源一郎〕が**歌舞伎座**を設立。

い　俳優

「**団・菊・左時代**」⇒明治中期の歌舞伎黄金時代

☆**９代市川団十郎・5代尾上菊五郎・初代市川左団次**。歌舞伎の社会的地位が著しく向上した。

B　**新派劇**

川上音二郎らが時事的な劇に民権思想を盛り込んだ壮士芝居〔書生芝居〕や**オッペケペー節**を演じたことが起源。

☆日清戦争前後，通俗小説の劇化を加え，**大衆的な現代劇**へと変化。

☆川上音二郎の妻で女優となった川上貞奴は，欧米の興行で「マダム貞奴」として名声を得た。

C　**新劇（明治後期～）**

西洋近代劇を翻訳・上演。1911年には日本初の純洋風劇場として**帝国劇場**も設立された。

あ　**文芸協会**（1906年）

坪内逍遙・島村抱月ら

☆女優の**松井須磨子**がシェークスピア『ハムレット』のオフェリア，イプセン『人形の家』のノラなどを好演。

い　**自由劇場**（1909年）

小山内薫・２代市川左団次ら。

☆左団次は新歌舞伎運動も推進。

D　**東京音楽学校（1887年⇒官立学校）**

文部省の音楽取調掛であった**伊沢修二**が初代校長となり，**滝廉太郎**らを輩出。

☆伊沢修二は，小学校において**西洋音楽〔洋楽〕**の歌謡を模倣した**唱歌**教育を開始。

☆滝廉太郎はのちドイツに留学。『荒城の月』『箱根八里』『花』などを作曲。

⑦大正・昭和初期の思想

A　**“大正デモクラシー”**の思想⇒天皇主権の枠内で市民的自由を追求

あ　**吉野作造**の**民本主義**

☆**総合雑誌『中央公論』**に発表。

い　**美濃部達吉**の**天皇機関説**

☆のち**国体明徴声明**(1935年)で否定される。

う　**石橋湛山**の**小日本主義**

☆**雑誌『東洋経済新報』**のジャーナリスト。

B　**社会主義思想**⇒左翼思想

あ　**森戸辰男**(東大助教授)

論文『**クロポトキンの社会思想の研究**』で編集発行人の大内兵衛（東大助教授）とともに東大を追われ，大原社会問題研究所に参加（1920年，**森戸事件**)。

い　**河上肇**(京大教授)

マルクス主義経済学を研究。『**貧乏物語**』『自叙伝』など。

う　高畠素之

初めてマルクスの『資本論』を翻訳。

え　**野呂栄太郎**

岩波書店『**日本資本主義発達史講座**』を編集。1930年代に日本資本主義論争を展開した，山田盛太郎らと並ぶ**講座派**の中心人物。

☆地下組織の日本共産党系。当面は民主主義革命を目指す。

お　猪俣津南雄

山川均らと雑誌『労農』を創刊。1930年代に日本資本主義論争を展開した，櫛田民蔵らと並ぶ**労農派**の中心人物。

☆日本共産党から離脱したグループ。プロレタリア革命を目指す。

C　**超国家主義思想〔ウルトラ・ナショナリズム〕**⇒右翼思想

◇　**猶存社**の結成（1919年，**北一輝**・**大川周明**ら）

☆北一輝は『**日本改造法案大綱**』の著者。内紛から23年に解散。

⑧大正・昭和初期の人文科学

A　哲学

『**善の研究**』の**西田幾多郎**(京大教授)，『三太郎の日記』の阿部次郎，『古寺巡礼』『風土』『人間の学としての倫理学』の**和辻哲郎**ら。

B　**民俗学**

『**遠野物語**』の**柳田国男**，**折口信夫**〔釈迢空〕，**南方熊楠**，伊波普猷ら。

☆柳田国男は，民間伝承・習俗の調査・研究を通じて常民(＝無名の民衆)の生活史を明らかにしようとし，日本民俗学の祖とされる。

C　日本史学　『神代史の研究』の**津田左右吉**(早大教授)ら。

D　東洋史学

邪馬台国九州説の白鳥庫吉，邪馬台国近畿説の内藤虎次郎〔湖南〕ら。

⑨大正・昭和初期の文学

A　**耽美派**（たんびは）

美を至上のものとして女性を崇拝。退廃的・享楽的（きょうらくてき）・官能的な美の創造を追求。

あ　**永井荷風**（ながいかふう）　『あめりか物語』『ふらんす物語』『**腕くらべ**』『濹東綺譚（ぼくとうきだん）』
☆慶應義塾の教授に迎えられ，雑誌『三田（みた）文学』を創刊。

い　**谷崎潤一郎**（たにざきじゅんいちろう）　『**刺青**（しせい）』『**痴人**（ちじん）**の愛**』『春琴抄（しゅんきんしょう）』『**細雪**（ささめゆき）』
☆戦後まで長く作家活動を続ける。

う　佐藤春夫　『田園の憂鬱（ゆううつ）』『都会の憂鬱』

B　**白樺派**（しらかばは）

人道主義・理想主義・個人主義の立場から自我の尊厳（そんげん）を主張した，上流階級出身者の一派。**雑誌『白樺』**。

あ　**武者小路実篤**（むしゃのこうじさねあつ）　『**友情**』『**人間万歳**（ばんざい）』『お目出たき人』，戯曲（ぎきょく）『**その妹**』
☆宮崎県などに理想郷（きょう）「新しき村」を設立。

い　**志賀直哉**（なおや）　『**暗夜行路**（あんやこうろ）』『和解』『城（き）の崎（さき）にて』『小僧（こぞう）の神様』『清兵衛（せいべえ）と瓢箪（ひょうたん）』
☆白樺派に珍しいリアリスト〔現実主義者〕。

う　**有島武郎**（ありしまたけお）　『**或**（あ）**る女**』『**カインの末裔**（まつえい）』『生（う）れ出（い）づる悩み』

え　里見弴（さとみとん）　『多情仏心』

お　倉田百三（くらたひゃくぞう）　戯曲『出家とその弟子』，評論集『愛と認識との出発（たびだち）』

か　**柳宗悦**（やなぎむねよし）　**民芸**（無名の職人に作られた実用品）を広める**民芸運動**
☆哲学者・美術評論家。

C　**新思潮派**⇒新現実主義

反自然主義・反理想主義・反耽美の立場から，現実を理知的にとらえ技巧的に表現。

雑誌『新思潮（第三次・第四次）』。

あ　**芥川龍之介**　『**羅生門**』『鼻』『河童』『或阿呆の一生』

い　**菊池寛**　『**恩讐の彼方に**』『忠直卿行状記』『真珠夫人』，戯曲『**父帰る**』
☆雑誌『文藝春秋』を創刊し，芥川賞・直木賞を創設。

う　山本有三　『波』『女の一生』『路傍の石』

え　久米正雄　『破船』

D　奇蹟派〔新早稲田派〕⇒新現実主義

自然主義文学を継承，自らの過酷で悲惨な生活や人生・心理を飄逸な文体で描き，“私小説”を完成させる。

あ　**葛西善蔵**　『子をつれて』

い　宇野浩二　『蔵の中』

E　**プロレタリア文学（大正末期～昭和初期）**

雑誌『種蒔く人』創刊（1921年）により，労働者〔プロレタリアート〕の生活に根差し，階級闘争の理論に則した作品を描く**プロレタリア文学運動**が始まる。

あ　**葉山嘉樹**　『**海に生くる人々**』『セメント樽の中の手紙』
☆**雑誌『文芸戦線』**に寄稿。

い　**徳永直**　『**太陽のない街**』

う　**小林多喜二**　『**蟹工船**』『党生活者』『一九二八年三月十五日』
☆徳永と小林は**雑誌『戦旗』**（ナップ〔全日本無産者芸術連盟〕の機関紙）に寄稿。ナップはのちコップ〔日本プロレタリア文化連盟〕に発展。

え　中野重治　『村の家』⇒転向文学へ

お　島木健作　『生活の探究』『赤蛙』⇒転向文学へ

か　宮本百合子　『貧しき人々の群』『播州平野』

F　**新感覚派**⇒モダニズム

リアリズムを否定，反プロレタリア文学の立場から，文学の技法や表現の革命を目指す。雑誌『文芸時代』。

あ　**横光利一**　『日輪』『機械』『旅愁』『蠅』

い　**川端康成**　『**伊豆の踊子**』『**雪国**』『浅草紅団』

☆戦後，日本人初のノーベル文学賞を受賞。

G　新興芸術派⇒モダニズム

芸術は政治ではなく美に立脚すると唱え，反プロレタリア文学の立場をとる。

あ　**井伏鱒二**　『**山椒魚**』『ジョン万次郎漂流記』『黒い雨』

い　**梶井基次郎**　『**檸檬**』

H　新心理主義⇒モダニズム

人間の心理を克明にとらえて描こうとする。

あ　堀辰雄　『風立ちぬ』

い　伊藤整　『若い詩人の肖像』，翻訳『チャタレイ夫人の恋人』(ローレンス)

I　その他のモダニズム作家

あ　**中島敦**　『**山月記**』『李陵』

い　**林芙美子**　『**放浪記**』

J　**大衆文学**(大正時代〜)

あ　**中里介山**　『**大菩薩峠**』

い　**吉川英治**　『**宮本武蔵**』『三国志』『新・平家物語』

う　**大佛次郎**　『**鞍馬天狗**』『赤穂浪士』『パリ燃ゆ』

え　岡本綺堂　『修禅寺物語』『半七捕物帳』

お　野村胡堂　『銭形平次捕物控』

か　林不忘　『丹下左膳』

き　子母澤寛　『国定忠治』『新撰組始末記』

く　**直木三十五**　『南国太平記』

け　**江戸川乱歩**　『二銭銅貨』

☆**探偵〔推理〕小説**。明智小五郎や少年探偵団が活躍するシリーズ『怪人二十面相』など。

K　**児童文学（大正時代～）**

あ　**鈴木三重吉**（みえきち）　**雑誌『赤い鳥』**

☆童謡部門を担当した北原白秋により，童謡運動〔童謡復興運動〕の口火が切られる。

い　**宮沢賢治**　**『注文の多い料理店』『銀河鉄道の夜』**

L　近代詩

あ　**高村光太郎**　**『道程（どうてい）』『智恵子抄（ちえこしょう）』**

い　**萩原朔太郎（はぎわらさくたろう）**　**『月に吠（ほ）える』**

う　室生犀星（むろおさいせい）　『抒情（じょじょう）小曲集』

え　**宮沢賢治**　**『春と修羅』**

お　三好達治　『測量船』

か　中原中也（ちゅうや）　『山羊（やぎ）の歌』『在（あ）りし日の歌』

き　草野心平（くさのしんぺい）　『第百階級』

く　立原道造（たちはらみちぞう）　『萱草（わすれぐさ）に寄（よ）す』『暁（あかつき）と夕（ゆうべ）の詩』

M　**短歌**⇒アララギ派の活躍

あ　島木赤彦（しまきあかひこ）　『氷魚（ひお）』

い　**斎藤茂吉**（もきち）　**『赤光（しゃっこう）』**『あらたま』

N　**俳句**

あ　種田山頭火（たねださんとうか）　『草木塔（そうもくとう）』

い　尾崎放哉（ほうさい）　『大空（たいくう）』

う　水原秋桜子（みずはらしゅうおうし）　『葛飾（かつしか）』

⑩大正・昭和初期のその他の芸術

A　**新劇**

あ　**芸術座**（1913年）

島村抱月（ほうげつ）・松井須磨子（すまこ）ら

☆松井須磨子がトルストイ『復活』を好演。劇中歌『カチューシャの唄（うた）』も流行歌となった。

い　**築地小劇場（つきじしょうげきじょう）**（1924年）

小山内薫（おさないかおる）・土方与志（ひじかたよし）ら

☆**新劇運動**の中心となった“演劇の実験室”。昭和初期以降はプロレタリア演劇運動の拠点となる。

B　**宝塚少女歌劇〔宝塚歌劇団〕（大正時代～）**

箕面有馬電気軌道（のち阪神急行電気鉄道〔阪急〕）の**小林一三**が設立。

☆小林は，乗客増加をはかるため沿線で住宅地開発を進めるとともに，遊園地や温泉，女性のみからなる歌劇団などの娯楽施設を経営し，主要駅の大阪梅田では初の**ターミナルデパート**である阪急百貨店を開業した。

C　**大衆演劇（大正時代～）**

芸術座を脱退した沢田正二郎らが**新国劇**を結成，『国定忠治』『月形半平太』などの剣劇を上演。

☆歌舞伎と新劇の中間の“国民演劇”を目指した。

D　**浅草オペラ（大正時代）**

繁華街として賑わった浅草六区で始まった日本的オペレッタ（娯楽性が強く軽い内容のオペラ）。学生・青年層に「ペラゴロ」と呼ばれる熱狂的なファンを生んだが，関東大震災（1923年）で衰退。

E　**軽演劇（昭和初期）**

モボ〔モダンボーイ〕・モガ〔モダンガール〕登場後のエロ・グロ・ナンセンスの風潮に乗り，喜劇役者**榎本健一〔エノケン〕**，古川緑波〔ロッパ〕が活躍。

F　プロレタリア演劇運動（昭和初期）

築地小劇場を拠点に，プロレタリア文学の高揚を連動。

G　**漫画（昭和初期～）**

田河水泡『のらくろ』，島田啓三『冒険ダン吉』などが少年達の人気を集める。

H　**紙芝居**

昭和恐慌期には『黄金バット』が人気を博した。

I　**ラジオ放送**

1925年に東京・大阪・名古屋で本放送開始。翌1926年に**日本放送協会〔NHK〕**を設置。

☆三味線の伴奏で語る浪曲も全国的に広がる。

J　**活動写真**⇒明治時代にアメリカ・フランスから輸入

昭和初期までは活動弁士〔活弁士〕が説明する**無声映画〔サイレント〕**。1931年に**有声映画〔トーキー〕**が始まる。

☆阪東妻三郎〔阪妻〕ら時代劇スターを生む。

K　**代表的音楽家**

洋楽の普及がめざましく，小学校の唱歌以外にも，新たに民間で創作された童謡がさかんに歌われるようになった。また，**蓄音機**とレコードの登場により歌謡曲が流行した。

あ　**山田耕筰**

作曲家・指揮者。『この道』『赤とんぼ』など多数。わが国初の交響楽団である日本交響楽協会を育成。三菱財閥の岩崎小弥太が主宰する東京フィルハーモニーでも指揮を執った。

い　近衛秀麿

近衛文麿の異母弟。山田耕筰に学び，新交響楽団（現在のNHK交響楽団）を創設。

う　**三浦〔柴田〕環**

ソプラノ歌手。わが国初のオペラ上演『オルフォイス』や『**蝶々夫人**』などで世界的に有名。

え　**宮城道雄**

箏曲家。尺八奏者の吉田晴風と協力して新日本音楽を創始。洋楽を取り入れて『春の海』などを作曲。

お　中山晋平

作曲家。『カチューシャの唄』『ゴンドラの唄』『東京行進曲』『東京音頭』など。

か　西条八十

作詞家。『東京行進曲』『東京音頭』など。

き　古賀政男

作曲家。ギター伴奏の“古賀メロディー”は歌謡曲の主流となった。『影を慕いて』『酒は泪か溜息か』など。

2　戦中～戦後の文化（現代）

①戦時体制下の思想弾圧⇒“昭和ファシズム”

A　社会民主主義者・共産主義者による，国家社会主義などへの“**転向**”が相次ぐ。

1932年　日本国家社会党結成

1933年　日本共産党最高指導者らによる転向宣言

B　思想弾圧事件

1933年　滝川事件〔京大事件〕

1935年　天皇機関説問題〔国体明徴(めいちょう)運動〕

1936年　コム＝アカデミー事件

☆政府による左翼弾圧事件。**講座派**の学者を検挙。

1937年　矢内原(やないはら)事件

☆政府の大陸政策を批判した**東大教授矢内原忠雄**が著書発禁・辞職に追い込まれる。

第一次人民戦線事件

☆政府による左翼弾圧事件。山川均・鈴木茂三郎(もさぶろう)ら**労農派**を検挙。「日本無産党」は結社禁止処分となる。

1938年　第二次人民戦線事件

☆政府による左翼弾圧事件。大内兵衛・美濃部亮吉(りょうきち)・有沢広巳(ひろみ)ら**労農派**の学者を検挙。

河合事件

☆ファシズム批判を行った**東大教授河合栄治郎(えいじろう)**が辞職に追い込まれる。

1940年　**津田事件**

☆記紀神話の合理的な文献批判を行った早大教授**津田左右吉(そうきち)**が不敬罪で起訴され，『神代史(しんだいし)の研究』などの著書も発禁処分となる。

1942年　横浜事件

☆総合雑誌『中央公論』『改造』などが廃刊に追い込まれた言論弾圧事件。戦後，再審により無実が明らかとなった。

②戦中・戦後の文化機関

1937年　**文化勲章**の制定

☆これに準じるのが文化功労者。

1949年　**日本学術会議**の設置

1950年　文化財保護法

☆前年の**法隆寺金堂壁画焼損**が契機となる。

1968年　**文化庁**の設置

③戦後の学問研究

A　戦後の学者

丸山真男(政治学)，大塚久雄(経済史学)，川島武宜(法社会学)，石母田正(歴史学)，宮本常一(民俗学)ら。

B　ノーベル賞受賞者

1949年　湯川秀樹　(物理学賞)⇒中間子理論
1965年　朝永振一郎(物理学賞)
1968年　**川端康成　(文学賞)**
1973年　江崎玲於奈(物理学賞)
1974年　**佐藤栄作　(平和賞)**
1981年　福井謙一　(化学賞)
1987年　利根川進　(生理学・医学賞)
1994年　**大江健三郎(文学賞)**
2000年　白川英樹　(化学賞)
2001年　野依良治　(物理学賞)
2002年　小柴昌俊　(物理学賞)
　　　　田中耕一　(化学賞)
2008年　小林誠・益川敏秀(物理学賞)
　　　　南部陽一郎(物理学賞)※米国籍
　　　　下村脩　　(化学賞)
2010年　鈴木章　　(化学賞)
　　　　根岸英一　(化学賞)
2012年　**山中伸弥　(生理学・医学賞)⇒iPS細胞**
2014年　赤崎勇　　(物理学賞)
　　　　天野浩　　(物理学賞)
　　　　中村修二　(物理学賞)※米国籍
2015年　梶田隆章　(物理学賞)
　　　　大村智　　(生理学・医学賞)
2016年　大隅良典　(生理学・医学賞)
2017年　カズオ＝イシグロ(文学賞)※英国籍
2018年　本庶佑　　(生理学・医学賞)

④戦中・戦後の文学

A　**戦中文学**

1942年，**日本文学報国会**・大日本言論報国会が結成される。

あ　**火野葦平**（ひのあしへい）　**『麦と兵隊』**

い　**石川達三**　**『生きてゐる兵隊』**⇒発禁となる

☆『蒼氓』（そうぼう）で第１回芥川賞を受賞。

B　**無頼派**（ぶらい）**〔新戯作派〕**

あ　**坂口安吾**（あんご）　**『白痴』**（はくち），**評論『堕落論』**（だらく）

い　**太宰治**（だざいおさむ）　**『斜陽』『人間失格』**『富嶽百景』（ふがく）『走れメロス』

う　織田作之助（さくのすけ）　『夫婦善哉』（めおとぜんざい）

え　檀一雄（だんかずお）　『火宅の人』

C　**第一次戦後派**

あ　**野間宏**（のまひろし）　**『真空地帯』**

い　梅崎春生（うめざきはるお）　『桜島』

D　**第二次戦後派**

あ　**大岡昇平**（しょうへい）　**『俘虜記』**（ふりょき）『野火』（のび）『武蔵野夫人』『レイテ戦記』

い　**安部公房**（こうぼう）　『壁』**『砂の女』**

う　**三島由紀夫**（ゆきお）　**『仮面の告白』**『潮騒』（しおさい）『金閣寺』

E　第三の新人

安岡章太郎，阿川弘之，吉行淳之助（よしゆき），**遠藤周作**ら。

Ｆ　その他の現代作家⇒**中間小説**の流行

あ	**石原慎太郎**	**『太陽の季節』**
い	**大江健三郎**	『飼育』『死者の奢(おご)り』 ☆ノーベル文学賞を受賞。
う	開高健(かいこうたけし)	『パニック』『裸の王様』
え	井上靖(やすし)	『闘牛』『天平の甍(いらか)』
お	北杜夫(もりお)	『夜と霧の隅(すみ)で』『楡家(にれけ)の人びと』
か	松本清張(せいちょう)	『点と線』『砂の器(うつわ)』⇒社会派推理小説
き	山本周五郎	『樅ノ木(もみのき)は残った』
く	**司馬遼太郎(しばりょうたろう)**	**『竜馬がゆく』**『坂の上の雲』
け	井上ひさし	『吉里吉里人(きりきりじん)』
こ	木下順二	戯曲『夕鶴』
さ	峠三吉(とうげさんきち)	詩集『原爆詩集』
し	野坂昭如(のさかあきゆき)	『火垂(ほた)るの墓』
す	**石牟礼道子(いしむれみちこ)**	**『苦海浄土(くがいじょうど)』**
せ	有吉佐和子	『恍惚(こうこつ)の人』『複合汚染』
そ	山崎豊子(とよこ)	『白い巨頭』『大地の子』『不毛地帯』
た	村上龍	『限りなく透明に近いブルー』
ち	**村上春樹**	**『ノルウェイの森』**
つ	吉本ばなな	『キッチン』
て	宮部みゆき	『理由』『模倣犯』
と	平野啓一郎	『日蝕(にっしょく)』
な	川上未映子(みえこ)	『乳(ちち)と卵(らん)』『ヘヴン』
に	綿谷(わたや)りさ	『インストール』『蹴りたい背中』
ぬ	百田尚樹(ひゃくたなおき)	『永遠の０(ゼロ)』『海賊とよばれた男』『日本国記』

⑤戦後の放送・映画・芸能・スポーツなど

A　放送

1951年　民間ラジオ放送の開始

1953年　テレビ放送の開始⇒NHK〔日本放送協会〕による

☆日常生活に欠かせないものとなり，映画産業の衰退を招く。

1960年　カラーテレビ放送の開始

B　**映画**

あ　**溝口健二**　『西鶴(さいかく)一代女』『雨月(うげつ)物語』

い　**黒澤明(くろさわあきら)**　**『羅生門(らしょうもん)』(ベネチア国際映画祭グランプリ)**

『影武者(かげむしゃ)』(カンヌ国際映画祭グランプリ)

う　小津安二郎(おづやすじろう)　『東京物語』

え　今井正(ただし)　『青い山脈』『ひめゆりの塔』

☆『青い山脈』の原作小説は石坂洋次郎の著。

お　木下恵介　『カルメン故郷に帰る』

☆戦後初の長編カラー映画。

か　円谷英二(つぶらやえいじ)　『ゴジラ』シリーズ

☆テレビ特撮『ウルトラマン』シリーズでも有名。

き　今村昌平(しょうへい)　『楢山節考(ならやまぶしこう)』(カンヌ国際映画祭グランプリ)

『うなぎ』(カンヌ国際映画祭グランプリ)

く　北野武(たけし)　『HANA－BI』(ベネチア国際映画祭グランプリ)

C　**歌謡曲**

あ　**並木路子(なみきみちこ)**　**『リンゴの唄』**

い　**笠置(かさぎ)シズ子**　**『東京ブギウギ』**

う　**美空(みそら)ひばり**　『悲しき口笛』『柔(やわら)』『悲しい酒』『川の流れのように』

D　**その他の著名人**

古橋広之進(ひろのしん)(水泳“フジヤマのトビウオ”)，**力道山(りきどうざん)**(プロレス)，**手塚治虫(おさむ)**(漫画・アニメーション『**鉄腕アトム**』)，長谷川町子(まちこ)(漫画『サザエさん』)，石原裕次郎，高倉健(けん)，吉永小百合(さゆり)(俳優)，坂本九(きゅう)，山口百恵(ももえ)，宇多田ヒカル(歌手)，植村直己(なおみ)(冒険家)，大鵬(たいほう)(大相撲)，長嶋茂雄，**王貞治(おうさだはる)**(プロ野球)，小澤征爾(せいじ)(指揮者)，野茂英雄(のもひでお)，イチロー(メジャーリーグ)，大坂なおみ(プロテニス)など。

E　スポーツ国際大会

1964年　東京オリンピック(夏季)

1972年　**札幌オリンピック(冬季)**

1998年　長野オリンピック(冬季)

2002年　サッカーワールドカップ日韓大会

2021年　東京オリンピック(夏季)⇒予定

F　**国際博覧会**

1970年　大阪万国博覧会

1975年　沖縄海洋博覧会

1985年　筑波科学技術博覧会

2005年　愛知万国博覧会〔愛・地球博〕

2025年　大阪万国博覧会⇒予定

〈***Note***〉

第４講　宗教史

1　古墳～天平文化の宗教

①儒教・仏教の伝来と神祇信仰（５～６世紀）⇒古墳文化

A　儒教の伝来

６世紀に百済から五経博士が渡来。

☆５世紀に王仁により『論語』は伝わっていた。

B　**仏教の伝来⇒大乗仏教**〔北伝仏教〕

６世紀前半，司馬達等（鞍作鳥の祖父）ら一部の渡来人の間で私的に信仰されていたが，公的には百済の聖明王から欽明天皇へと伝えられた。

☆**戊午説（538年，『上宮聖徳法王帝説』『元興寺縁起』）と壬申説（552年，『日本書紀』）があり，前者の説が有力。**

☆**蘇我稲目**（崇仏派・大臣）と**物部尾輿**（廃仏派・大連）の間で**崇仏論争**が勃発，対立は子の**蘇我馬子**と**物部守屋**に引き継がれる。

C　道教の伝来

老荘思想や神仙思想を取り入れ，不老長寿の方術・養生術を行う。

☆５～６世紀に伝来し，７世紀後半の白鳳文化期に流行した中国の民族宗教。

②日本文化の形成（５～６世紀）⇒古墳文化

A　**農耕儀礼**の成立

豊作を祈願する春の**祈年祭**，収穫を感謝する秋の**新嘗祭**（天皇即位の年は**大嘗祭**）が行われる。

B　呪術的風習の進展

禊・祓（汚れをはらい災いを免れる），**太占の法**（占い），**盟神探湯**（熱湯に手を入れる裁判）などが行われる。

☆太占の法は時代が下ると廃れ，亀卜が占いの主流に。

③厩戸皇子の仏教導入（６世紀末～７世紀初め）⇒飛鳥文化

A　**厩戸皇子**

蘇我氏の血を引く皇族(用明天皇の子)。蘇我馬子が擁立した初の女帝，叔母にあたる**推古天皇の摂政・皇太子**として，冠位十二階・憲法十七条制定や遣隋使派遣などを行う。

☆奈良・平安時代にかけて仏教が定着すると，**聖徳太子**という尊称が贈られ，個人崇拝の対象となった。

B　仏教興隆の詔(594年)

物部氏を滅ぼした蘇我馬子・聖徳太子の影響下で，推古天皇が出したもの。これにより崇仏論争は決着し，朝廷は正式に仏教を受容することとなった。

C　寺院の建立

四天王寺(摂津国)・**法隆寺〔斑鳩寺〕**・中宮寺(大和国)など。

☆**蘇我馬子**は，初の本格的寺院である**法興寺〔飛鳥寺〕**を**氏寺**として建立している。

D　『**三経義疏**』の執筆

法華経・勝鬘経・維摩経という３つの経典の注釈書。

☆聖徳太子の仏教の師は高句麗から渡来した恵慈。

☆聖徳太子は，自らの死に臨んで「**世間虚仮，唯仏是真**」という境地に至った。

E　**憲法十七条**の制定→初の成文法

日本古来の**和**の精神に，**儒教・法家の思想**とともに**仏教の精神**を組み込んだ。

☆第一条「**和**を以って貴しとなし，忤ふることなきを宗とせよ。……」

第二条「篤く**三宝**を敬へ。三宝とは，**仏・法・僧**なり。……」

第十条「……われ必ずしも聖にあらず。かれ必ずしも愚にあらず。ともにこれ**凡夫**のみ。」

④国家仏教の成立と神祇制度の整備（７世紀後半）⇒白鳳文化

飛鳥四大寺(**大官大寺**，飛鳥寺〔法興寺〕，川原寺〔弘福寺〕，**薬師寺**)などの**官寺**が設置され，僧綱制や僧尼令による統制も進む。地方豪族も競って寺院を建立した。

☆天皇制の確立に伴い，伊勢神宮を中心とする神祇制度の整備も同時に行われた。

⑤鎮護国家仏教の全盛（８世紀）⇒天平文化

仏教は，ヤマト政権が全国を統一して律令国家になると，その支配に利用された。仏教の力で国家を安らかに治めようとする**鎮護国家**思想や，病気平癒・雨乞いなど除災招福の**現世利益**が重視され，衆生の救済という本来の大乗仏教の思想は軽視された（＝国家仏教）。

☆**金光明経〔金光明最勝王経〕・法華経〔妙法蓮華経〕**・仁王経の「護国三（部）経」を重視。

A　仏教保護政策⇒僧尼令により統制

741年　国分寺建立の詔

743年　大仏〔盧舎那仏〕造立の詔

☆行基や国中公麻呂らが協力。

745年　行基を大僧正とする

752年　東大寺大仏開眼供養会

☆**菩提僊那**（インド僧）が開眼師，**仏哲**（林邑僧）が雅楽師として出席。

753年　鑑真来日

☆翌年平城京へ。

765年　道鏡が太政大臣禅師となる

766年　道鏡が法王となる

B　**南都六宗⇒奈良仏教〔南都仏教〕**の６学派

三論宗（道慈ら），**成実宗**，**法相宗**（義淵・行基・玄昉・道鏡ら），**倶舎宗**，**華厳宗**（良弁ら），**律宗**（鑑真ら）の**奈良仏教**六宗派。並行して学ぶこともでき，学問的性格が強い。

☆**教理研究の学派**なので，一つの寺院に複数の宗派が存在することもある。

C　南都七大寺

元興寺，法隆寺，薬師寺，**東大寺**，**西大寺**，**大安寺**，**興福寺（藤原氏の氏寺）**の七寺院。

☆法隆寺のかわりに唐招提寺とする場合もある。

D　**鑑真**の来日（753年，淡海三船『唐大和上東征伝』）より

入唐した普照と栄叡の要請により，失明しながらも５度の失敗を乗り越え渡来。戒律を伝え東大寺に戒壇院を建立し，聖武太上天皇・光明皇太后・孝謙天皇らに授戒。のち**唐招提寺**を創建し，そこで没した。

☆東大寺（大和国），薬師寺（下野国），観世音寺（筑前国）の戒壇を「**天下〔本朝〕三戒壇**」と呼ぶ。

E　社会事業

あ　**行基**⇒745年に大僧正となるが大仏完成前に死去

民間布教，架橋（かきょう）・治水（ちすい）など土木工事の指導，貧民救済施設である布施屋（ふせや）の設置など。

い　**光明皇后**

悲田院（ひでんいん）・施薬院（せやくいん）など，貧民・病人救済施設の設置。

う　和気広虫（わけのひろむし）〔法均尼（ほうきんに）〕⇒称徳天皇の側近で和気清麻呂の姉

恵美押勝の乱（764年）後，孤児を養育。

F　結果

あ　寺院の濫造（らんぞう）による国家財政の窮乏（きゅうぼう）と人民の疲弊（ひへい）

い　**仏教の国家保護による僧侶の政治介入（かいにゅう）**

☆**玄昉・道鏡など。**

う　教団内部における宗教活動の低迷（ていめい）と退廃（たいはい）

☆仏教が社会に根付く過程では，鎮護国家だけでなく**現世利益（げんぜりやく）**を求める手段とされたり，**神仏習合（しゅうごう）**の思想が起こったりもした。

え　**造寺造仏（ぞうじぞうぶつ）の盛行（せいこう）による天平文化の創出**

２　平安時代の宗教

南都六宗〔奈良仏教〕のように経典を学ぶ一般的な**顕教**に対し，神秘の教えである**密教**色の強い新たな仏教が登場し，**信仰を中心とした一宗派の独立**が見られた。

☆平安新仏教（＝**天台宗・真言宗**）は，政治権力と結びついた奈良仏教に対し，**山岳仏教**として世俗を離れ，厳しい修行を通して新たな気風を生んだ。

①天台宗（９世紀前半〜）⇒弘仁・貞観文化

A　**最澄〔伝教大師〕**

近江国の渡来人系の子に生まれる。804年の遣唐使に同行し，翌年の帰国後に**天台宗**を開き，桓武天皇の庇護を受ける。

☆中心寺院は**比叡山延暦寺（近江国）**。主著は『**山家学生式**』『**顕戒論**』。

B　一乗思想〔法華一乗〕

最澄は，鎮護国家・現世利益にこだわる南都六宗を差別的と批判，大乗仏教の代表的経典『**法華経**』の精神こそが真の教えだとし，総合宗派として仏の前における絶対平等を説いた。

☆一切衆生悉有仏性（＝生あるものはすべて仏になる可能性がある）と主張し，仏になることを目指し修行することが，悟りを開く唯一の方法であるとした。

C　**大乗戒壇**の設立

最澄は，仏門に入る者へその資格（＝戒）を授ける戒壇を，大乗戒壇として延暦寺に設けることを朝廷に願い出た。

☆天下三戒壇（東大寺・薬師寺・観世音寺）をもつ南都六宗と鋭く対立したが，死の７日後に実現した。

D　**密教化の進展**

最澄の弟子であった**円仁〔慈覚大師〕**（最古の日記『**入唐求法巡礼行記**』の著者）や**円珍〔智証大師〕**（空海の甥）も唐に渡った。帰国後，彼らが天台宗の密教化を進め，**台密**と呼ばれた。

☆円仁と円珍の死後，10世紀末から**延暦寺の山門派（＝円仁派）**，**園城寺〔三井寺〕の寺門派（＝円珍派）**に分裂し，対立を深めた。

②真言宗（９世紀前半～）⇒弘仁・貞観文化

A　**空海〔弘法大師〕**

讃岐国（香川県）の地方豪族の子に生まれる。804年の遣唐使に同行し，２年後の帰国後に**真言宗**を開き，**嵯峨天皇の庇護を受ける**。中心寺院は**高野山金剛峰寺（紀伊国）**と，嵯峨天皇に賜った**教王護国寺〔東寺〕（京都）**。主著は『**三教指帰**』『十住心論』。

☆唐風書道の名手「三筆」の一人で，漢詩集『性霊集』や詩論『文鏡秘府論』も有名。初の庶民教育機関である**綜芸種智院**の設立や，修行時代は四国八十八カ所の遍路も行った。

B　**密教**

大日如来が自らの悟りを高弟に伝授した神秘の教えとされる。大日経を中心に三密の行（＝身で印契を結び，口で真言〔マントラ〕を唱え，意を集中する）を行い，その身のままで仏となる**即身成仏**を説く。

☆密教世界を具現化した図を**曼荼羅**という。

C　真言宗の隆盛

空海は，**加持祈禱**によって鎮護国家と現世利益を実現するといい，皇族・貴族の信頼を得た。南都六宗との関係も良好で，**東密**と呼ばれ隆盛した。

③神祇信仰の発達

A　御霊信仰の発生

非業の死を遂げた人物の霊（＝**怨霊**）をまつる**御霊会**が行われる。

☆神泉苑（早良親王を祀る初の御霊会が行われる），祇園社〔八坂神社〕，**北野天満宮〔北野神社〕**・大宰府天満宮（菅原道真を学問の神「天神」とする）など。

B　放生会の開始

捕獲しておいた虫・魚・動物などを山野河海に解き放ち自由にする。仏教の影響を受けて行われた。

④神仏習合の進展

A　**神仏習合**→神道と仏教の融合

奈良時代以降，天照大神や八幡神などの八百万神は，大日如来や阿弥陀如来などの仏が権（＝仮）の姿で現れた「**権現**」であるとの考えが出てきた。このような**仏教中心の神道との融合**を**本地垂迹説**といい，**神宮寺**の建立，神前読経の実施，寺院の境内に守護神を祀るなど，仏教と日本古来の神祇信仰との融合が進んだ。

B　**修験道**

白鳳文化期の**役小角**〔**役行者**〕に始まる古来の山岳崇拝と，新たな山岳仏教が融合。修験道の修行者を山伏という。

⑤末法思想と浄土信仰（10世紀後半～）⇒国風文化

10世紀に入り，皇族・貴族による律令国家体制が衰退した。各地に武士が登場し戦乱が激しくなり，疫病や飢饉も起き続けると，**社会不安の増大**にともない現世での幸福をあきらめ，来世を信仰する仏教が流行した。

☆人々が頼みとする南都六宗や天台宗・真言宗の大寺院は，荘園の集積など世俗化が進んでいた。

A　**末法思想**

釈迦入滅後１千年間を**正法**（＝教・行・証ともに存在する），続く１千年間を**像法**（＝教・行のみ），その後１万年間を**末法**（教のみ）とし，日本では1052（永承７）年から末法の世に突入すると考えられた。

☆７世紀に中国の善導が大成した思想。教えを理解する人々の能力は次第に衰えていく，という仏教的歴史観に基づくもの。

B　**浄土信仰〔浄土教〕**

仏の教えのみが残り，修行の実践や悟りが得られない末法の世においては，現世利益よりも，来世で西方の**極楽浄土に往生**することが望まれた。

☆**念仏「南無阿弥陀仏」**を唱え，**阿弥陀如来**の救済にすがる。

C　**空也〔市聖・阿弥陀聖〕**（10世紀半ば）

寺院を拠点とせず全国の市井を歩き，経典が読めず自ら学ぶことができない人でも実践できる称名念仏（＝声に出して唱える）で救われることを説いた。

☆諸国巡歴後は京都に西光寺（のちの**六波羅蜜寺**）を創建。市を拠点に民衆に布教し，貧民や病人の世話などをした。

D　**源信〔恵心僧都〕**（10世紀後半）

985年に『**往生要集**』を著し**厭離穢土・欣求浄土**を説き，穢れた現世から離れて極楽浄土に生まれ変わることを勧めた。源信は，文字の読める皇族・貴族に対して称名念仏に加えて観想念仏（＝阿弥陀如来の姿を思い浮かべる）を勧めた。

☆『往生要集』は，渡宋した僧により中国にも持ち込まれ，広く読まれた。

E　**往生伝**（念仏の功徳で往生した人々の伝記集）の執筆

『**日本往生極楽記**』（**慶滋保胤**），『拾遺往生伝』（三善為康），『続本朝往生伝』（大江匡房）など。

F　**経塚**の流行

経典を書写し，**経筒**におさめ地中に埋める。藤原道長が法華経を埋納した金峰山経塚などが有名。

⑥院の仏教保護と浄土教文化の地方波及（12世紀）

A　**院の仏教保護**

院政を行う白河・鳥羽・後白河の３上皇は出家して法皇となり，造寺造仏（**六勝寺**）や寺社参詣（紀伊国の**高野詣・熊野詣**），盛大な法会などに執心した。

☆六勝寺は，平安京の東に建立された**法勝寺（白河天皇）**，尊勝寺（堀河天皇），最勝寺（鳥羽天皇），円勝寺（待賢門院），成勝寺（崇徳天皇），延勝寺（近衛天皇）。

☆過剰な仏教保護は財政難を招き，成功が行われ売位・売官の風潮が流行するなど政治が腐敗。また，**僧兵**の横暴により社会不安が増大した。

B　**僧兵の横暴**

朝廷・院に対する**強訴**，国司との抗争，大寺院間の合戦などにより社会が混乱。皇族・貴族の無力さが露呈し，鎮圧を任された武士が中央に進出する契機となった。

あ　**興福寺〔南都〕**

春日神社の神木を掲げ強訴する**奈良法師**。

い　**延暦寺〔北嶺〕**⇒山門派

日吉神社の神輿を担ぎ強訴する山法師。

☆寺門派の**園城寺〔三井寺〕**の僧兵は**寺法師**という。

C　**浄土教文化の地方波及**

公的な位・役職をもたず，寺院に所属しない**聖〔聖人・上人〕**たちによる布教と，それを受け容れる地方武士の台頭により，中央の浄土教文化が地方に波及した。

３　鎌倉時代の宗教

初の武家政権である鎌倉幕府がつくられ，各種産業が発達し庶民が台頭した鎌倉時代には，新たな勢力である**武士・庶民の救済要求に応える教え**が必要となった。鎌倉新仏教の特色は，**易行**（いぎょう）・**選択**（せんじゃく）・**専修**（せんじゅ）の３つ。誰もが解りやすく，誰もが実践でき，誰もが救済される，すなわち大乗思想を徹底したものであった。

①浄土宗（12世紀後半～）⇒念仏宗・他力本願

A　**法然**（ほうねん）〔源空（げんくう）〕

美作国（みまさかのくに）（岡山県）の地方武士の子に生まれる。比叡山延暦寺で修行後，**浄土宗**を開く。中心寺院は**知恩院**（ちおんいん）**（京都）**。主著は『**選択本願念仏集**（せんじゃくほんがん）』『一枚起請文（きしょうもん）』。

B　**専修念仏**

一切の修行・寄付行為などを否定し，ただ**念仏「南無阿弥陀仏」**を唱えることで女性・悪人も平等に救われると説いた。

☆戒律にこだわる奈良仏教に攻撃され，朝廷により土佐国（実際は讃岐国）に流罪となったが，のち許され帰京（＝承元（じょうげん）の法難）。

②浄土真宗〔一向宗（いっこう）〕（13世紀前半～）⇒念仏宗・他力本願

A　**親鸞**（しんらん）

京都の貴族の子に生まれる。比叡山延暦寺で修行後，法然の門を叩き，**浄土真宗〔一向宗〕**を開く。中心寺院は**東本願寺・西本願寺（京都）**。主著は『**教行信証**（きょうぎょうしんしょう）』。

☆のち弟子の**唯円**（ゆいえん）が『**歎異抄**（たんにしょう）』を残す。

B　報恩（ほうおん）感謝の念仏

念仏「南無阿弥陀仏」は往生の手段ではなく，すでに救われていることへの感謝として唱えるものとした。

☆その上で一向専修念仏を説く。

C　非僧非俗（ひそうひぞく）

師の法然に連座し越後国に流された後，関東や東海地方で自身を「僧と俗人の中間」として，戒律で禁止されていた肉食妻帯（にくじきさいたい）を肯定し，布教に努めた。妻は恵信尼（えしんに）。

☆親鸞は「愚禿（ぐとく）親鸞」と名乗るほど，凡夫（ぼんぷ）の自覚があった。

D　**悪人正機説**

「**善人なをもちて往生をとぐ，いはんや悪人をや**」(善人が往生できるなら，悪人はなおさら往生できる)。

☆凡夫の自覚をもつ人間を悪人とし，悪人こそが阿弥陀如来にひたすらすがることで救われると説いた。このこともあり，下級武士・農民に信者が多い。

E　**絶対他力・自然法爾**

親鸞は，往生に努力は関係なく，すべて阿弥陀仏の力とはからいであるから自然のままに任せるべき，と考えた。

F　**一向一揆**

親鸞の教えは，平易な**御文**〔**御文章**〕形式で布教した本願寺**８世蓮如**(室町時代，越前国吉崎道場)や，10世証如(室町時代，山城国山科本願寺)，**11世顕如**(安土桃山時代，摂津国石山本願寺)へと引き継がれ，門徒たちが一揆を起こすこともあった。

③時宗(13世紀後半～)⇒仏宗・他力本願

A　**一遍**〔智真〕(1239～89年)⇒**遊行上人・捨聖**

伊予国の地方武士の子に生まれる。当初は天台宗を学び，のち**時宗**を開く。中心寺院は清浄光寺〔遊行寺〕(相模国)。

☆著書や経典は死の直前に焼却。江戸時代に『**一遍上人語録**』がまとめられる。

B　**遊行**

一遍は，浄土信仰の先駆者であった空也(平安時代)の影響を強く受け，彼と同じように全国を巡り歩いた。

C　**踊念仏**・賦算

一遍は，信心・不信心に関係なく，ただ念仏を唱えさえすれば救われると説いた。そして，念仏を唱えながら踊ったり，念仏札を配ったりしながら，弟子たちと各地を回った。

☆信者には都市下層民も多く含まれ，時衆と呼ばれる。

④臨済宗（12世紀末〜）⇒禅宗・自力開悟

A　**栄西**

備中国（岡山県）の神職の子に生まれる。比叡山延暦寺で修行後，宋に２度渡航し，帰国して**臨済宗**を開く。中心寺院は**建仁寺（京都）**。主著は『**興禅護国論**』『出家大綱』『**喫茶養生記**』。

B　看話禅

公案と呼ばれる禅問答を考え悟りに至る方法論は，自律的な武士の気風と合致し，とくに**鎌倉幕府・室町幕府に積極的に受け容れられた。**

⑤曹洞宗（13世紀前半〜）⇒禅宗・自力開悟

A　**道元**

京都の上級貴族の子に生まれる。比叡山延暦寺で修行後，宋に渡航し，帰国して**曹洞宗**を開く。中心寺院は**永平寺（越前国）**と。主著は『**正法眼蔵**』。

☆弟子の懐奘が『正法眼蔵随聞記』を残す。

☆鎌倉後期に瑩山紹瑾が総持寺（能登国，現在は横浜市）を開山。

B　黙照禅⇒**只管打坐**

道元は，ひたすら坐禅に打ち込めば誰もが悟りの境地に達することができると説き，「人々皆仏法の器なり」という言葉を残した。

C　身心脱落

ひたすら坐禅することによって身も心も束縛から解き放たれ，ありのままの境地に至ることができる，とした。

D　修証一等〔修証一如〕

坐禅の修行は単なる悟りの手段ではなく，修行そのものが悟りの証であるとした。

⑥日蓮宗〔法華宗〕(13世紀半ば～)⇒題目宗・法華経至上主義

A　**日蓮**

安房国の漁民の子に生まれる。地元の清澄寺や比叡山延暦寺で学んだ後，**日蓮宗〔法華宗〕**を開く。中心寺院は**久遠寺(甲斐国)**。主著は『**立正安国論**』『開目鈔』『勧心本尊鈔』。

☆『立正安国論』は得宗の北条時頼(もと５代執権)に提出，政治批判の罪で伊豆国に流された。他の２著書は佐渡国配流後に執筆。

B　**唱題⇒題目「南無妙法蓮華経」**

日蓮は，『**法華経〔妙法蓮華経〕**』だけが，末法の世を救う釈迦の究極の教えを伝える唯一の経典であると説いた。

☆唱題により，永遠の真理の象徴である久遠実成の仏と出会い，誰もが現世に浄土を見て，即身成仏できるとした。

C　**四箇格言・折伏**

「念仏無間，禅天魔，真言亡国，律国賊」という激しい他宗批判と，強引な自宗への勧誘を行った。

D　法華経の行者

日蓮は，他宗批判だけでなく権力者への提言も遠慮なく行ったので，２度流罪となるなど，強烈な迫害・弾圧にあった。しかし，そもそも『法華経』に「これを広めようとする者は法難を受ける」とあったので，それに負けず教えを実践し広める，という使命感を強くもつようになった。

☆そういった姿勢は弟子たちにも引き継がれ，鎌倉・京都の武士や商工業者の信者を増やした。とくに室町時代の京都では町衆が**法華一揆**を組織した。

⑦その他の宗教

A　**旧仏教の革新**（新仏教の興隆による反省）

新仏教を批判，**戒律の尊重**を唱え社会事業も実施。

あ　**法相宗**

貞慶〔解脱〕

☆山城国笠置寺を中興，『興福寺奏状』を著し法然の専修念仏を攻撃。

い　**華厳宗**

高弁〔明恵〕

☆京都栂尾に高山寺を開山，『摧邪輪』を著し法然の専修念仏を攻撃。

う　**律宗**

俊芿〔我禅〕

☆京都に泉涌寺を開山，天台・真言・禅・律の兼学の道場とする。

叡尊〔思円〕

☆奈良の西大寺を再興，戒律の復興を進め真言律宗を開く。また，自伝『感身学生記』を著す。

☆蒙古襲来に際して異国調伏の祈禱を行い，“興正菩薩”と呼ばれる。

忍性〔良観〕

☆**奈良**に**北山十八間戸**を建て，らい病患者を救済。

☆のち鎌倉の極楽寺に入り，慈善事業に努めた。

B　**修験道**の隆盛

天台宗・真言宗のもとに組織され発展。

☆天台系は本山派，真言系は当山派という。

C　**伊勢神道**〔度会神道〕→根本経典として『神道五部書』を作成

伊勢神宮外宮の神官**度会家行**が**反本地垂迹説〔神本仏迹説〕**を唱え，『**類聚神祇本源**』を著す。神祇信仰が神道という宗教に成長。

☆本地垂迹説をとる山王一実神道（天台宗系）や両部神道（真言宗系）と対立。

４　室町・安土桃山時代の宗教

①室町時代の宗教

Ａ　**臨済宗**

室町幕府の保護のもとで発展。のち幕府衰退とともに没落。

あ　**初代将軍足利尊氏・直義**

帰依していた**夢窓疎石**の勧めで全国に**安国寺・利生塔**，京都に**天龍寺**を造営。

い　**３代将軍足利義満**

南宋の**官寺の制**に倣い，**五山・十刹**を制度化しその下に諸山を置いた。また，僧侶を取締る**僧録司**を相国寺に設置，初代僧録には**春屋妙葩**が就任した。

う　**京都五山**

南禅寺（別格上位），天龍寺（１位），相国寺（２位），建仁寺（３位），東福寺（４位），万寿寺（５位）

え　**鎌倉五山**

建長寺（１位），円覚寺（２位），寿福寺（３位），浄智寺（４位），浄妙寺（５位）

お　**五山文学**

朱子学研究・漢詩文の創作などで，禅の経典などと合わせ**五山版**として出版された。

☆五山僧の中には，幕府の政治・外交へ参与したり，水墨画製作などの文化活動に携わったりする者も多数あった。

か　**林下**

より自由な活動を求め，さかんに民間布教を行った禅宗の在野的諸派。

☆臨済系⇒**大徳寺**の**一休宗純，妙心寺**など

☆曹洞系⇒永平寺，総持寺など

Ｂ　浄土宗

朝廷と結び京都で勢力を拡大後，東国へ進出。

Ｃ　**浄土真宗〔一向宗〕**

本願寺派が勢力を拡大し，北陸・東海・畿内の各層に浸透。応仁の乱後，**本願寺８世蓮如**が**越前国吉崎**を拠点に布教，**門徒**集団が地域ごとに結束し強大化，各地で**一向一揆**が発生した（加賀・越前・伊勢長島・三河など）。

D　時宗

芸能・文芸面で活躍する将軍側近の**同朋衆**を輩出した。

☆**観阿弥・世阿弥（猿楽能）**，**善阿弥**（作庭，山水河原者の代表），能阿弥（水墨画・連歌），立阿弥（立花）など**阿弥号**を名乗る。

E　**日蓮宗〔法華宗〕**

戦闘的な布教により東国から西日本各地へ勢力を拡大。15世紀半ば，**日親**は**６代将軍義教**に**『立正治国論』を提出**，焼鍋冠りの拷問にあうが京都の町衆への布教に成功，のち**法華一揆**が結ばれることとなった。

F　**唯一神道**〔吉田神道〕

伊勢神道の影響を受けた京都吉田神社の神官**吉田兼倶**が創始。本地垂迹説に基づく両部神道に対し，反本地垂迹説の立場で神道を中心に儒教・仏教を取り入れた総合的な学説を展開。

②キリスト教の伝来⇒イエズス会〔耶蘇会〕宣教師の活躍

A　背景

16世紀，ドイツ人ルターやフランス人カルヴァンの宗教改革（＝プロテスタント〔新教〕）に対する**カトリック〔旧教〕**の対応。1534年，イグナティウス＝ロヨラやフランシスコ＝ザビエルが**イエズス会**を結成。

B　**フランシスコ＝ザビエル（スペイン人）**の布教

1549年，マラッカで洗礼した日本人アンジロー〔ヤジロー・弥次郎〕の案内で，トレス（スペイン人）とともに**鹿児島**に上陸，島津貴久に布教許可を得る。

☆のち松浦隆信の平戸，**大内義隆**の**山口**（周防国）を経て京都に入るが，将軍・天皇ともに布教許可を得られず，約２年間山口や大友義鎮〔宗麟〕の府内（豊後国）など西日本各地に布教後，日本を退去。

C　後継者たちの布教⇒『**耶蘇会士**(やそかいし)**日本通信**』によりイエズス会に報告

あ　ガスパル＝ヴィレラ（ポルトガル人）

13代将軍義輝(よしてる)の許可を得て畿内へ布教，堺へも住む。

い　**ルイス＝フロイス**　（ポルトガル人）

織田信長・豊臣秀吉の庇護(ひご)を受けたがバテレン〔宣教師〕追放令で退去。

再来日し，『**日本史**』を著したのち長崎で死去。

う　オルガンティーノ　（イタリア人）

織田信長の庇護を受け，京都に**南蛮寺〔教会堂〕**・安土（近江国）に**セミナリオ**〔神学校〕を設立。

え　**ヴァリニャーニ**　（イタリア人）

有馬（肥前国）にセミナリオを合併，豊後府内に**コレジオ**〔大学〕を設立。

1582年には天正遣欧使節派遣を提案し，インドのゴアまで同行。90年，使節の帰国時に再来日し，**活字印刷機を伝えた。**

D　**キリシタン大名**⇒多くは貿易利潤のために入信，**ローマ字印章**(いんしょう)**〔印判〕**を用いる。

大村純忠(すみただ)，**有馬晴信**(はるのぶ)，**大友義鎮**(よししげ)**〔宗麟**(そうりん)**〕**，黒田孝高(よしたか)〔如水(じょすい)〕，小西行長(ゆきなが)，**高山右近**(うこん)ら。

E　**天正遣欧使節（1582～90年）⇒ヴァリニャーニの勧め**

九州の**大村・有馬・大友の三大名**が，**伊東マンショ・千々石**(ちぢわ)**ミゲル**・中浦ジュリアン・原マルチノの４少年を派遣。

☆ローマ教皇(きょうこう)グレゴリウス13世に謁見(えっけん)し，1590年に帰国するが，すでに日本では豊臣秀吉によりバテレン〔宣教師〕追放令が発布されており，布教活動は著(いちじる)しく制限された。

５　江戸時代の宗教

①キリスト教の禁止

A　**理由⇒統一的支配の障害**

ポルトガル・スペインの侵略に対する懸念（けねん），信者の団結・抵抗の強さを恐れる。

☆信者は17世紀初めで約70～75万人。

B　推移

1609年　マードレ=デ=デウス号事件

☆キリシタン大名有馬晴信（ありまはるのぶ）が長崎でポルトガル船を撃沈（げきちん）。

1612年　**幕領に禁教令〔キリスト教禁止令〕**を発布

☆岡本大八（だいはち）事件が契機（けいき）となる。

1613年　**慶長遣欧使節**（～20年）

☆**伊達政宗が支倉常長を派遣**。フランシスコ会士ルイス=ソテロが同行。

全国に禁教令を発布

1614年　**高山右近**（うこん）ら300人余りのキリシタンをマニラ・マカオに追放

☆高山右近はもとキリシタン大名。翌年マニラで病死。

1622年　**元和（げんな）の大殉教（だいじゅんきょう）**

☆**長崎**で宣教師・信徒ら**55名**を処刑。

1630年　禁書令

☆３代将軍家光が洋書の輸入を禁止。

C　**島原の乱**〔島原・天草（あまくさ）一揆〕**(1637～38年)**

天草四郎時貞〔益田（ますだ）時貞〕を中心とする約３万８千人の**キリシタン農民**や牢人が蜂起（ほうき），原城跡（はらじょうあと）に立てこもった。

あ　原因

松倉勝家（肥前国島原城主）と寺沢堅高（かたたか）（肥後国天草領主）による，過酷（かこく）な年貢徴収とキリスト教徒弾圧に領民が反抗。

☆以前，島原半島は有馬晴信，天草諸島は小西行長の支配下にあったため，旧キリシタン大名領としての風潮が残っていた。

い　結果

九州の外様など約12万人を大動員し，譜代の板倉重昌（京都所司代板倉勝重の子）が指揮にあたったが失敗。**老中松平信綱**〔知恵伊豆〕が出陣し，オランダ船の援護も得てようやく鎮圧した。

☆乱後，松倉家と寺沢家は改易。

う　意義

幕府権力のさらなる集中と，**鎖国政策促進の契機**となった。

D　禁教政策の強化

あ　**踏絵**

九州北部を中心に**絵踏**を実施して改宗を強制したが，一部の信者は迫害にも屈せず殉教するものや，秘かに信仰を維持する**潜伏キリシタン**〔**隠れキリシタン**〕として残存した。

☆曹洞宗の禅僧鈴木正三らもキリシタンの改宗に努める。

い　**寺請制度**〔**寺檀制度**〕

寺院に一般民衆を**檀家**〔檀徒・檀那〕として所属させ，キリシタンでないことを証明させる制度。1640年，**宗門改役**を設置して**宗門改め**を実施。結婚・奉公・旅行などに際し檀那寺が**寺請証文**〔宗旨手形〕を発行，檀家を監視した。

☆幕府・諸藩は**宗門改帳**〔宗旨人別改帳〕を作成，**寺院を通しての民衆支配**を進めた。のち人別改と合わせ**宗門人別改帳**となり，戸籍の役割を果たした。

②寺社の統制

A　禁教

キリスト教の他にも，日奥を祖とする**日蓮宗不受不施派**を禁止。

☆神道・陰陽道・修験道などは仏教に準じて容認。

B　領地

朱印地（将軍の朱印状により安堵），黒印地（旗本・大名の黒印状により安堵）など約40万石。

C　法度(はっと)

仏教諸宗の本山となる門跡寺院に皇子や宮家・摂家の子弟が入寺したことから，幕府は門跡も朝廷の一貫とみなして統制した。

1601年～**寺院法度**〔諸宗諸本山法度(しょしゅうしょほんざんはっと)〕

☆**各宗派ごと**に出し，**本山**の地位を保障して**末寺**(まつじ)を組織させる**本末制度**を実施した。

1665年　諸宗寺院法度(しょしゅうじいんはっと)

☆**各宗派共通**の，寺院・僧侶統制令。

諸社禰宜神主法度(しょしゃねぎかんぬしはっと)

☆**神社・神職の統制令**。唯一神道の吉田家を本所として白川家とともに統制にあたらせた。

☆陰陽道は，公家の土御門(つちみかど)家が全国の陰陽師(おんみょうじ)を配下に置いた。

D　行政

将軍⇒**寺社奉行**⇒各宗派の**本山**⇒**末寺**(まつじ)⇒檀家(だんか)

☆修験道は，天台系の本山派は聖護院(しょうごいん)門跡が，真言系の当山派は醍醐寺三宝院(だいごじさんぼういん)門跡が本山として山伏(やまぶし)を支配した。

E　結果

仏教・神道ともに，独立した宗教としての活力(かつりょく)を失う。

F　**黄檗宗**(おうばくしゅう)の伝来(17世紀半ば)

禅宗の一派(ぜんしゅう)。明から来日した**隠元隆琦**(いんげんりゅうき)が伝える。

☆本山は山城国宇治(うじ)の**万福寺**(まんぷくじ)。

６　明治時代の宗教界

①神社神道（祭祀を担う超宗教）

A　国家が手厚く保護

☆**神社神道**を宗教として扱わず，天皇の神格化・絶対化に利用（＝**国家神道**）。

B　三重県の**伊勢神宮**（内宮・外宮）を頂点とする国家的神社制度

あ　全国の神社を**官社・諸社**に大別

☆さらに官社を官幣社・国幣社に大別。

☆東京府の**靖国神社**（もと招魂社）は**別格官幣社**とされ，各地の招魂社はのち護国神社と改称。

い　皇室行事を中心に**祝祭日**を設定

☆**紀元節**（２月11日＝神武天皇即位の日），**天長節**（11月３日＝明治天皇の誕生日）など。

C　**神道国教化の挫折**

1868年　**五榜の掲示による切支丹邪宗門の禁止**

浦上信徒弾圧事件〔浦上崩れ〕（1868～73年，**長崎県**）

☆1865年の大浦天主堂落成時，潜伏キリシタンたちがフランス人宣教師に信仰を告白。江戸幕府に続き明治政府もこれを弾圧。

政体書による**神祇官**の再興

神仏分離令〔神仏判然令〕

☆王政復古・祭政一致の方針から従来の神仏習合〔神仏混淆〕を否定，神社を寺院から独立させ**廃仏毀釈**の嵐が吹き荒れる。

☆仏教擁護の一揆である護法一揆も発生。

1869年　版籍奉還後に神祇官が太政官と並立・上位とされる

宣教使の設置

1870年　**大教宣布の詔**

☆神道国教化を目指し宣教使に布教を命じるが，仏教側の抵抗により失敗に終わる。

1871年　廃藩置県後に神祇官を**神祇省**に格下げ

1872年　神祇省を**教部省**と改称

1873年　切支丹禁制高札廃止→キリスト教信仰を黙認（もくにん）

☆浦上信徒弾圧事件で列国の抗議を受けて対処。各地に流罪となっていた信徒たちも釈放。

☆以後，キリスト教会は布教のかたわら教育・福祉活動や廃娼運動などに成果を上げていく。

1877年　教部省，内務省に合併される

☆国民の教化をあきらめ，祭祀と宗教を分離し**国家神道**を確立。

1889年　大日本帝国憲法発布

☆法律の範囲内で，臣民の信教の自由が認められる。

②教派神道（政府公認の神道系新宗教13派）

江戸時代後期以降に創始された，**黒住宗忠（くろずみむねただ）の黒住教（岡山県），中山みきの天理教（奈良県），川手文治郎（かわてぶんじろう）〔赤沢文治（あかざわぶんじ）〕の金光教（こんこう）（岡山県）**などを順次公認。

☆経典をもち行（ぎょう）を重んじ，生神（いきがみ）とされる教祖が現世利益（げんぜりやく）の祈禱を行う。

③その他の神道系新宗教

出口なおの大本教（京都府）など。

☆のち娘婿（むすめむこ）の出口王仁三郎（おにさぶろう）が発展させる。

④仏教の復興

浄土真宗の**島地黙雷（しまじもくらい）**や井上円了（えんりょう），清沢満之（きよざわまんし）らの活躍で，廃仏毀釈による打撃から復興。

第５講　美術史

1　古代の美術

①飛鳥(あすか)文化の仏像彫刻（飛鳥仏）

中国の雲崗(うんこう)石仏・竜門(りゅうもん)石仏の影響。アルカイックスマイル〔古拙(こせつ)の微笑(えみ)〕を浮かべる。

A　**北魏(ほくぎ)様式**

力強く端正(たんせい)で硬(かた)い表現，左右対称の幾何学(きかがく)的な衣文(えもん)。

あ　**飛鳥寺釈迦如来(しゃかにょらい)像〔飛鳥大仏〕**

☆**鞍作鳥(くらつくりのとり)〔止利(とり)仏師〕**の作，**わが国最古の仏像**。

い　**法隆寺金堂釈迦三尊(さんぞん)像**

☆**鞍作鳥**の作。

う　**法隆寺夢殿救世観音(ぐぜかんのん)像**

☆明治前期に**アメリカ人フェノロサ**と岡倉天心が調査。

B　**南梁(なんりょう)様式**

柔和(にゅうわ)で丸みのある写実的表現，自然な変化のある衣文。

あ　**法隆寺百済観音(くだらかんのん)像**

い　**中宮寺半跏思惟(はんかしい)像〔弥勒菩薩(みろくぼさつ)像〕**

う　**広隆寺半跏思惟像〔弥勒菩薩像〕（山背国）**

②飛鳥文化の工芸

A　**法隆寺玉虫厨子(たまむしのずし)**

須弥座(しゅみざ)絵・扉(とびら)絵は，古墳壁画を除くわが国最古の絵画。

B　法隆寺**獅子狩文様錦(ししかりもんようきん)**

C　法隆寺**竜首水瓶(りゅうしゅすいびょう)**

D　法隆寺伎楽面(ぎがくめん)

E　**中宮寺天寿国繍帳(てんじゅこくしゅうちょう)**

聖徳太子の妃(きさき)の一人であった橘大郎女(たちばなのおおいらつめ)が，采女(うねめ)たちにつくらせたもの。

F　**忍冬唐草(にんどうからくさ)文様**

スイカズラのような蔓草(つるくさ)を図案化。エジプトやギリシアに発し，中国を経て伝来。

③白鳳文化の仏像彫刻（白鳳仏）

A　**興福寺仏頭**

もと**山田寺**薬師三尊像の本尊。

B　**薬師寺金堂薬師三尊像**

C　**薬師寺東院堂聖観音像**

D　**法隆寺阿弥陀三尊像**〔橘夫人念持仏〕

E　**法隆寺夢違観音像**

④白鳳文化の絵画

A　**法隆寺金堂壁画**（1949年焼損）

アジャンター石窟壁画（インド）や敦煌石窟壁画（中国）に類似。その焼損は**文化財保護法制定**（1950年）の契機となる。

B　**高松塚古墳壁画**（1972年発見）

高句麗の古墳壁画に類似。星宿・男性群像・**女性群像**・四神〔東＝青竜，西＝白虎，南＝朱雀，北＝玄武〕などが描かれるが，朱雀は現存せず。

☆カビが発生するなど劣化が進み，石室が解体され壁画を修復。

C　**キトラ古墳壁画**

ファイバースコープを用いた石室内の調査により，星宿・十二支の獣頭人身図・四神などの壁画が発見される。

☆劣化が進み，石室内の壁画をはぎ取り修復。

D　上淀廃寺金堂壁画（伯耆国）

⑤天平(てんぴょう)文化の仏像彫刻（天平仏）

A　**塑像(そぞう)**（木を芯とし粘土(ねんど)を塗り固めた像）

あ　**東大寺法華堂日光(にっこう)・月光菩薩(がっこうぼさつ)像**

い　**東大寺法華堂執金剛神(しつこんごうしん)像**

う　**東大寺戒壇院(かいだんいん)四天王(してんのう)像**

☆東西南北に持国天(じこくてん)・広目天(こうもくてん)・増長天・多聞天(たもんてん)。

え　新薬師寺十二神将(しんしょう)像

☆最古の十二神将像。

B　**乾漆像(かんしつぞう)**（麻布(あさぬの)を漆(うるし)で塗り固め原型を抜き取った像）

あ　**東大寺法華堂不空羂索観音(ふくうけんじゃくかんのん)像**

い　**興福寺八部衆(はちぶしゅう)像**（**阿修羅像(あしゅらぞう)**など）

う　**興福寺十大弟子像**

え　**唐招提寺鑑真和上(わじょう)像**

お　**聖林寺(しょうりんじ)十一面観音像**

⑥天平文化の絵画・工芸

A　**薬師寺吉祥天(きちじょうてん)像**

B　**正倉院鳥毛立女屏風(ちょうもうりゅうじょびょうぶ)**

☆唐の「**樹下(じゅか)美人図**」の構図(こうず)を採用。

C　**過去現在絵因果経(えいんがきょう)**

☆釈迦の前世を描く絵巻物の源流。

D　**正倉院宝物(ほうもつ)**

光明皇太后が東大寺に寄進した**聖武太上天皇の遺愛品(いあいひん)**。**シルクロード〔絹(きぬ)の道〕**経由の**西域(さいいき)の工芸品**など約9000点。

☆**螺鈿紫檀五絃琵琶(らでんしたんごげんのびわ)**，漆胡瓶(しっこへい)，白瑠璃碗(はくるりのわん)，紺瑠璃杯(こんるりのつき)，銀薫炉(ぎんくんろ)など。

☆**正倉院文書(もんじょ)**も多数残存。

E　**百万塔陀羅尼(ひゃくまんとうだらに)**

称徳天皇(しょうとく)が恵美押勝の乱（764年）の戦没者慰霊のため十の大寺に寄進した木製の小塔が百万塔。内部におさめられた陀羅尼（経(きょう)）は，現存最古級の印刷物。

F　東大寺大仏殿八角灯籠(とうろう)

⑦弘仁(こうにん)・貞観(じょうがん)文化の彫刻

頭部と胴体を一本の木で作る**一木造**(いちぼくづくり)が主流。衣文(えもん)は力強い**翻波式**(ほんぱしき)で，豊満(ほうまん)・神秘的な像が多い。

A　**室生寺金堂釈迦如来像（大和国）**

B　**室生寺弥勒堂(みろくどう)釈迦如来（坐(ざ)）像**

C　**元興寺(がんごうじ)薬師如来像（大和国）**

D　**神護寺(じんごじ)薬師如来像**

E　新薬師寺薬師如来像（大和国）

F　**法華寺十一面観音像（大和国）**

G　**観心寺(かんしんじ)如意輪観音(にょいりんかんのん)像（河内国）**

H　**教王護国寺講堂不動明王(ふどうみょうおう)像**

I　**薬師寺僧形八幡神(そうぎょうはちまんしん)像（大和国）**

☆神仏習合を示す好例。

J　薬師寺神功(じんぐう)皇后像

⑧弘仁・貞観文化の絵画

密教芸術が進展。

A　**曼荼羅(まんだら)**

密教の**金剛界**(こんごうかい)と**胎蔵界**(たいぞうかい)を図化した**両界曼荼羅**が隆盛。

あ　**神護寺両界曼荼羅**

☆現存最古の曼荼羅。神護寺の所在地から高雄曼荼羅ともいう。

い　**教王護国寺両界曼荼羅**

B　**不動明王像**

不動明王は密教の中心仏である大日如来の化身(けしん)。

あ　**園城寺(おんじょうじ)不動明王像　〔黄(き)不動〕（近江国）**

☆円珍が感得し画工に描かせたとされる。

い　高野山明王院(みょうおういん)不動明王像〔赤不動〕（紀伊国）

☆円珍が描いた？

⑨弘仁・貞観文化の書道

嵯峨天皇，**空海**〔**弘法大師**〕，**橘逸勢**(たちばなのはやなり)を，力強い唐風書道〔**唐様**(からよう)〕の三名手として**三筆**(さんぴつ)と呼ぶ。

A　**風信帖**(ふうしんじょう)

空海が最澄にあてた手紙。

B　久隔帖(きゅうかくじょう)

最澄が弟子の泰範(たいはん)にあてた手紙。

⑩国風文化の仏教美術

A　彫刻

仏所(ぶっしょ)において**寄木造**(よせぎづくり)で阿弥陀如来像を大量生産し，浄土教〔浄土信仰〕流行の需要に応(こた)えた。

あ　**平等院鳳凰堂阿弥陀如来像**

☆仏師の**定朝**(じょうちょう)が制作。周囲に52体の雲中供養菩薩像(うんちゅうくようぼさつぞう)を従える。

い　**法界寺阿弥陀如来像**

う　浄瑠璃寺(じょうるりじ)九体阿弥陀仏

B　絵画

往生する人を迎えるため阿弥陀如来が来臨(らいりん)する場面を描く，**来迎図**(らいごうず)の制作が流行。

あ　**高野山聖衆来迎図**(しょうじゅ)(紀伊国)

い　**平等院鳳凰堂扉絵**(とびらえ)

う　青蓮院(しょうれんいん)不動明王像〔青不動〕

⑪国風文化のその他美術

A　絵画

従来の唐絵(からえ)とともに，日本の風物を題材としてなだらかな線と上品な彩色をもつ**大和絵**(やまとえ)が発達。

☆平安前期の百済河成(くだらのかわなり)に続き，９世紀に**巨勢金岡**(こせのかなおか)らが活躍。

B　書道

平安前期の力強い唐様(からよう)に対し，流麗・優美な**和様**(わよう)が発達。**小野道風**(おののみちかぜ)(『屛風土代(びょうぶどだい)』『秋萩帖(あきはぎじょう)』)・**藤原佐理**(すけまさ)(『**離洛帖**(りらくじょう)』)・**藤原行成**(ゆきなり)(世尊寺流(せそんじりゅう)の祖，『**白氏詩巻**(はくししかん)』)の三名手を**三蹟**(さんせき)〔**三跡**〕という。

C　工芸

蒔絵(まきえ)(＝漆で文様を描き，金銀粉を蒔(ま)きつけて漆器(しっき)の模様とする)や**螺鈿**(らでん)(＝貝殻の真珠光(しんじゅこう)部分を薄片(はくへん)にして漆器に埋め込む)などの技法が発達。輸出品としても珍重(ちんちょう)された。

２　中世の美術

①院政期の文化の美術

A　往生極楽院(おうじょうごくらくいん)阿弥陀如来像（山城国）⇒京都郊外の大原(おおはら)の三千院(さんぜんいん)

B　中尊寺一字金輪像（陸奥国）⇒平泉

C　**臼杵磨崖仏(うすきまがいぶつ)（豊後国）**

D　**絵巻物**

大和絵と詞書(ことばがき)をおりまぜて時間の進行を表現。同一画面内に同一人物が複数回登場する，異時同図法も用いられる。

あ　**源氏物語絵巻**（藤原隆能(たかよし)）

☆引目鉤鼻(ひきめかぎはな)・吹抜屋台(ふきぬきやたい)が二大技法。

い　**伴大納言絵巻〔絵詞〕(ばんだいなごん)**（常磐光長(ときわのみつなが)）

☆**応天門の変**で伊豆国に配流(はいる)された，大納言**伴善男(とものよしお)**を描く。

う　**信貴山縁起絵巻(しぎさんえんぎ)**

☆奈良県の朝護孫子寺(ちょうごそんしじ)に伝わる，命蓮(みょうれん)という僧の霊験談(れいげんだん)。

え　**鳥獣戯画(ちょうじゅうぎが)**　（**鳥羽僧正(とばそうじょう)**覚猷(かくゆう)）

☆京都郊外の**高山寺(こうざんじ)**が所蔵する，詞書のない軽妙で風刺的な絵巻物。

お　年中行事絵巻(ねんじゅうぎょうじ)

☆後白河上皇の命(めい)で宮廷行事を描いたもの。

E　**装飾経(そうしょくきょう)**→大和絵＋法華経(ほっけきょう)などの写経

あ　**扇面古写経(せんめんこしゃきょう)**

☆下絵に大和絵の手法で京都市中の民衆生活を描く。

い　**平家納経(のうきょう)**

☆平清盛ら平氏一門が，繁栄を祈願するため**厳島神社(いつくしま)**に奉納。

②鎌倉文化の彫刻（力強い写実性と躍動感に富む）

鎌倉初期の南都復興に際する，康慶を祖とする**慶派**の**奈良〔南都〕仏師**たちの活躍。

A　仏像彫刻

あ　**東大寺南大門金剛力士像**　　**（運慶・快慶・湛慶ら）**

☆**阿形像**と**吽形像**。

い　**東大寺僧形八幡神像**　　**（快慶）**

☆重源〔俊乗房・俊乗坊〕の命で制作。

う　**蓮華王院本堂千手観音像**　　**（湛慶）**⇒京都

え　興福寺金剛力士像　　（定慶）

お　**興福寺天灯鬼像・竜灯鬼像**　**（康弁）**

か　**高徳院阿弥陀像〔鎌倉大仏〕**　⇒鎌倉

☆室町時代，大地震で起きた津波により大仏殿は倒壊。

B　肖像彫刻

あ　**興福寺無著像・世親像**　**（運慶）**

い　**六波羅蜜寺空也上人像**　**（康勝）**⇒京都

う　明月院上杉重房像⇒鎌倉

え　**東大寺重源上人像**

☆おそらく慶派の仏師が制作。

③鎌倉文化の絵画（写実性に富む）

A　絵巻物（民衆の教化にも利用）

あ　合戦物

☆『**後三年合戦絵巻**』，『**平治物語絵巻**』，『**蒙古襲来絵巻〔絵詞〕**』（肥後国の御家人**竹崎季長**が描かせる）など。

い　縁起物

☆『**北野天神縁起絵巻**』（菅原道真の伝記），『**春日権現験記**』（高階隆兼），『**石山寺縁起絵巻**』，『粉河寺縁起絵巻』『山王霊験記絵巻』など。

う　伝記物

『**法然上人絵伝**』，『**一遍上人絵伝〔一遍聖絵〕**』（円伊），『鑑真和上東征絵伝』など。

え　その他

『**男衾三郎絵巻**』（東国の地方武士の生活を描く），『紫式部日記絵巻』。

B　肖像画(個性に対する関心の高まり)

あ　**似絵**(個人の記録的肖像画)

『源頼朝像』『平重盛像』？（ともに神護寺が所蔵，**藤原隆信**）

『後鳥羽上皇像』　（水無瀬神宮〔摂津国〕が所蔵，**藤原信実**）

『親鸞上人像〔鏡の御影〕』(西本願寺が所蔵，専阿弥)

『明恵上人樹上坐禅図』　(高山寺が所蔵，成忍)⇒これは似絵ではない

い　**頂相**(禅僧の肖像画)

C　その他

『地獄草紙』『餓鬼草紙』『病草紙』『天狗草紙』など

④鎌倉文化の書道

伏見天皇の皇子**尊円入道親王〔尊円法親王〕**が，和様の世尊寺流(藤原行成)に宋の書風を加味した**青蓮院流**を創始。代表作『鷹巣帖』。

☆平明高雅な書風は，江戸時代に御家流に発展。

⑤鎌倉文化の工芸

A　武器・武具

あ　**刀剣**

☆**粟田口吉光〔藤四郎吉光〕(京都)**，**岡崎正宗(鎌倉)**，**長船長光(備前国)**など。

い　**甲冑**⇒赤糸威鎧など。

明珍(京都)

B　**陶器**

道元に従い入宋した**加藤景正〔藤四郎〕**が**瀬戸焼(尾張国)**を創始？

☆その他に**常滑焼(尾張国)**，**越前焼(越前国)**，**珠洲焼(能登国)**，**信楽焼(近江国)**，**備前焼(備前国)**などが隆盛。

☆青磁・白磁などの磁器は中国から輸入され，唐物として珍重された。

⑥室町文化の絵画・工芸

A　南北朝文化

あ　**水墨画**（すいぼくが）⇒禅の精神的境地（きょうち）を墨の濃淡（のうたん）で具体化

布袋図（ほてい）（黙庵（もくあん））

寒山図（かんざん）（可翁（かおう））

い　絵巻物

慕帰絵詞（ぼきえことば）⇒本願寺３世覚如（かくにょ）の一代を描く

B　北山文化⇒**水墨画の発達**

あ　五百羅漢図（らかん）（**明兆**（みんちょう）〔兆殿司（ちょうでんす）〕）　⇒東福寺の画僧

い　妙心寺退蔵院（たいぞういん）**瓢鮎図**（ひょうねんず）（**如拙**（じょせつ））　⇒相国寺の画僧

☆４代将軍足利義持の命で描く。

う　**寒山拾得図**（かんざんじっとくず）（**周文**（しゅうぶん））　⇒相国寺の画僧，幕府御用絵師

C　東山文化⇒水墨画と大和絵の発展

あ　**水墨画**

四季山水図巻〔山水長巻〕（雪舟（せっしゅう）**）**

秋冬山水図（しゅうとうさんすいず）　**（〃）**

天橋立図（あまのはしだてず）　（〃）

☆雪舟の絵を学んだ雪村（せっそん）も，戦国期に東国で活躍。

い　**土佐派**⇒**朝廷絵所預**（ちょうていえどころあずかり）や幕府御用絵師となり，大和絵を発展させる。

清水寺縁起絵巻（きよみずでら）　（**土佐光信**（みつのぶ））

う　**狩野派**（かのう）⇒周文・小栗宗湛（おぐりそうたん）のあとをうけ，**幕府御用絵師**となる。

周茂叔愛蓮図（しゅうもしゅくあいれんず）　（**狩野正信**（まさのぶ））

大仙院花鳥図（だいせんいんかちょうず）　**（狩野元信**（もとのぶ）**）**

D　工芸

あ　**金工**（きんこう）

後藤祐乗（ゆうじょう）が８代将軍義政に仕える。

い　漆工（しっこう）

高蒔絵（たかまきえ）の技法が発展。８代将軍義政の遺愛品に名作が多い。

う　彫刻

能面の製作（小面（こおもて）〔若い女性〕・翁（おきな）〔老人〕・般若（はんにゃ）〔霊（れい）〕など）

３　近世の美術

①桃山文化の絵画

襖・障子・壁・屛風に**濃絵**〔金碧画〕や水墨画で描かれる，**障壁画**〔障屛画〕が主流。

☆**狩野派**の活躍が目立つ。

A　花鳥図

あ　**唐獅子図屛風（狩野永徳）**

い　**檜図屛風　　（　〃　）**

☆狩野永徳は元信の孫。弟の元秀も織田信長の肖像画で有名。

う　**松鷹図　　　（狩野山楽）**　⇒水墨画

え　**牡丹図　　　（　〃　）**

☆狩野山楽は永徳の門弟。

お　**智積院襖絵　（長谷川等伯ら）**

か　**松林図屛風　（長谷川等伯）**⇒水墨画

き　**山水図屛風　（海北友松）**　⇒水墨画

B　**風俗画**

あ　**洛中洛外図屛風（狩野永徳）**

い　**花下遊楽図屛風**（狩野長信）

う　**高雄観楓図屛風**（狩野秀頼）

え　**職人尽図屛風**　（狩野吉信）

お　豊国祭礼図屛風（狩野内膳）

C　**南蛮屛風**

狩野派を中心に日本人が制作

②桃山文化の彫刻・工芸

A　**透し彫**の**欄間彫刻**が隆盛

B　建築装飾や家具調度品などにも蒔絵を使用⇒**高台寺蒔絵（京都）**

③寛永期の文化の美術

A　**狩野派**

狩野永徳の孫の探幽が**幕府御用絵師**となり江戸へ下るが，以後狩野派はマンネリズムに陥る。

あ　**大徳寺方丈襖絵　（狩野探幽）**

い　**夕顔棚納涼図屛風（久隅守景）**⇒狩野探幽に破門される

B　**装飾画**

大胆な構図と洒脱で濃艶な装飾性をもつ大和絵。

◇　**風神雷神図屛風（俵屋宗達）**⇒京都の町衆出身

C　風俗画

◇　**彦根屛風**⇒彦根藩井伊家が所蔵

D　陶磁器

茶道の大成による需要増大や朝鮮侵略による陶工の来日により，焼物が隆盛。

☆**有田焼〔伊万里焼〕（肥前藩，李参平が創始）**，**薩摩焼（薩摩藩）**，**萩焼（長州藩）**，上野焼（小倉藩），高取焼（福岡藩），**唐津焼（唐津藩）**，平戸焼（平戸藩）などが**お国焼**の代表。

☆他に**楽焼（京都）**，志野焼（美濃国），織部焼（尾張国・美濃国）など。

E　絵付け

酒井田柿右衛門が上絵付法による有田焼〔伊万里焼〕の**赤絵**を完成。

☆**色絵花鳥文深鉢**など。

F　蒔絵

舟橋蒔絵硯箱　　　（**本阿弥光悦**）

☆光悦は，家康から京都郊外の鷹ヶ峰に土地を与えられ芸術村を形成。楽焼の制作や角倉素庵との**嵯峨本**（装飾本の一種）出版などでも有名。

④元禄期の文化の美術

A　絵画

あ　**狩野派**

幕府御用絵師として画壇に君臨するが，マンネリズムにより衰退。

☆破門された？ 英一蝶は風俗画で注目を浴びる。

い　**土佐派**

土佐光起が**朝廷絵所預**となり土佐派を再興するが，画風は停滞。

☆代表作は『秋郊鳴鶉図』。

う　**住吉派**

土佐派から分離した**住吉如慶**が住吉派を名乗り，子の**住吉具慶**が**幕府御用絵師**となり江戸に大和絵を広めるが，創造性に欠け衰退した。

☆代表作は『**洛中洛外図巻**』。

え　**琳派〔光琳派〕**

本阿弥光悦・俵屋宗達の影響を受けた**京都**の**尾形光琳**が，装飾画において光琳模様を完成。代表作は『**紅白梅図屛風**』『**燕子花図屛風**』。

☆光琳は蒔絵『**八橋蒔絵（螺鈿）硯箱**』も制作。

お　**浮世絵**⇒おもに世態・風俗を描く庶民的絵画

江戸の**菱川師宣**が浮世絵版画を創始。当時，一枚絵は少なく，多くは絵本・挿絵本。

☆代表作の『**見返り美人図**』**は肉筆画**。

B　工芸・その他

あ　陶磁器

京都の**野々村仁清**が上絵付法をもとに色絵を完成，**京焼**の大成者となる。代表作は『**色絵藤花文茶壺**』『色絵月梅文茶壺』『色絵吉野山図茶壷』。

☆仁清に学んだ**尾形乾山**（光琳の弟）も活躍。

い　染物

京都の**宮崎友禅**が，**友禅染**（京友禅）を創始。

☆のち加賀藩前田家で加賀友禅も興る。

う　**鉈彫**

ノミで彫った跡を木の表面に残す，荒削りで素朴な作品。美濃国出身の**円空**が蝦夷地を含む全国を行脚し，各地で仏像（円空仏）・神像を制作。代表作は『**両面宿儺像**』『護法神像』。

⑤宝暦・天明期の文化の美術

A　**浮世絵**⇒町絵師の活躍

あ　『**弾琴美人**』『ささやき』『五常』(**鈴木春信**)

☆1765年，一枚刷りの多色刷浮世絵版画の**錦絵**を創始。

い　『**婦女人相十品**』『寛政三美人』『当時全盛美人揃』(**喜多川歌麿**)

☆蔦屋重三郎のもとで，**美人画**(とくに**大首絵**)の名手として長く活躍。

う　『**市川鰕蔵**』『**大谷鬼次**』(**東洲斎写楽**)

☆蔦屋重三郎のもとで，**役者絵**・相撲絵(とくに**大首絵**)の名手として短期間のみ活躍。

B　**写生画**

あ　『**雪松図屏風**』『保津川図屏風』(**円山応挙**)

☆**京都**の**円山派の祖**，遠近法を採用。

い　『群鶏図襖』(伊藤若冲)

☆京都で活躍。

C　**文人画**

中国の**南画**の影響を受けた，文人・学者などが余技として描いたもの。

☆『**十便十宜図**』(**池大雅・与謝蕪村ら**)が有名。

D　**西洋画**

あ　『**西洋婦人図**』　(**平賀源内**)

い　『**不忍池図**』『三囲景図』　(**司馬江漢**)

☆平賀源内に学び，安土桃山時代に伝わった腐食**銅版画**〔エッチング〕を再興。

う　『**解体新書**(**挿絵**)』『不忍池図』(**小田野直武**)

☆秋田藩出身，平賀源内に学ぶ。

え　『**浅間山図屏風**』　(**亜欧堂田善**)

☆白川藩主松平定信に仕える。

⑥化政文化の美術

A　**浮世絵**⇒風景画の流行

開国後，モネ・ゴッホなどフランス印象派のジャポニズム〔日本趣味〕に多大な影響を与えた。

あ　『**富嶽**(ふがく)**三十六景**』『北斎漫画』(**葛飾北斎**(かつしかほくさい))

☆三十六景の46枚のうち，とくに「凱風(がいふう)快晴〔赤富士〕」「神奈川沖浪(なみ)裏(うら)」は有名。

い　『**東海道五十三次**(つぎ)』『名所江戸百景』(**歌川**(うたがわ)〔**安藤**〕**広重**(ひろしげ))

☆五十三次のうち，特に「日本橋」は有名。

う　『朝比奈小人嶋遊(こびとしまあそび)』(歌川国芳(くによし))

☆幕末期にかけて，世相(せそう)や政治を批判する錦絵を制作。

B　**写生画**

◇　『**柳鷺群禽図屏風**(りゅうろぐんきんずびょうぶ)』(**呉春**(ごしゅん)〔**松村月溪**(まつむらげっけい)〕)

☆**京都**の円山派から独立した，**四条派の祖**。

C　**文人画**(ぶんじんが)

各地を遊歴した浦上玉堂(うらがみぎょくどう)，江戸の**谷文晁**(たにぶんちょう)など。

☆谷文晁の弟子も，三河国田原藩家老の**渡辺崋山**(『**鷹見泉石像**(たかみせんせき)』『**一掃百態**(いっそうひゃくたい)』)，豊後国の**田能村竹田**(たのむらちくでん)らが活躍した。

☆美濃国大垣藩の絵馬細香(えまさいこう)のような女性画家もいた。

４　近代の美術

①明治期の美術学校・美術団体

A　**工部美術学校**(1876～83年)

御雇外国人として**ラグーザ，フォンタネージ**ら**イタリア人**が招かれ，それぞれ彫塑・洋画を教授した**官立学校**。

☆のち伝統美術を育成する方針となり，財政難もあり廃止。

B　**東京美術学校**(1887年)

初代校長**岡倉天心**〔覚三〕と師の**アメリカ人フェノロサ**が設立に尽力した**官立学校**。

日本画・木彫に重点を置きつつ，1896年以降は洋画・彫塑なども指導。

☆岡倉天心は，『**東洋の理想**』『日本の目覚め』『**茶の本**』などを英文で出版。

C　**明治美術会**　(1889年)⇒“脂派”

工部美術学校でフォンタネージに学び，のちフランスに留学した**浅井忠**らが結成。

わが国初の西洋美術団体。

☆のち解散し，太平洋画会となる(1902年，満谷国四郎ら)。

D　**白馬会**　(1896年)⇒“外光派〔紫派〕”

フランスに留学，ラファエル=コランに学び印象派の影響を受けた**黒田清輝**・久米桂一郎らが明治美術会から脱会して結成。画壇の主流を形成した。

E　**日本美術院**　(1898年)

東京美術学校校長を退任して**岡倉天心**が設立。日本画中心の美術団体だが，のち経営難により活動停止となり，茨城県五浦に移る。

☆岡倉天心の死後，1914年に弟子の横山大観らが東京に戻り再興。**日本美術院展覧会〔院展〕**を開催。

②近代の美術展覧会

A　**文部省美術展覧会〔文展〕**　(1907年)

第一次西園寺公望内閣の文部大臣**牧野伸顕**(大久保利通の子)が創始。文部省や東京美術学校などの関係者の意見を容れ，日本画・洋画・彫刻の３部門からなる総合展覧会を開設。

☆日本の伝統芸術と西洋美術との共栄をはかり，以後も回を重ねた。

B　**帝国美術院美術展覧会〔帝展〕**(1919年)

帝国美術院が設置され，文展が発展・改組。1937年から再び文部省主宰となる(＝新文展)。

☆戦後の1946年，**日本美術院展覧会〔日展〕**となる。

③近代の代表的日本画家

明治期

A　**狩野芳崖**(かのうほうがい)　**『悲母観音』**(ひぼかんのん)

☆東京美術学校設立に協力するが，開校直前に死去。

B　**橋本雅邦**(がほう)　**『竜虎図』**(りゅうこず)

☆岡倉天心とともに東京美術学校・日本美術院を設立。

C　**横山大観**(たいかん)　**『無我』『生々流転』**(せいせいるてん)

D　**菱田春草**(ひしだしゅんそう)　**『黒き猫』『落葉』**(らくよう)

E　**下村観山**(かんざん)　**『大原御幸』**(ごこう)

F　**竹内栖鳳**(せいほう)　**『斑猫』**(はんびょう)『アレタ立に』

☆京都画壇を牽引(けんいん)。

大正・昭和初期

A　**竹久夢二**(たけひさゆめじ)　**『黒船屋』**

☆“夢二式美人”として評判になる。

B　鏑木清方(かぶらぎきよかた)　『築地明石町』(つきじあかしちょう)

C　小林古径(こけい)　『髪』『犬と遊ぶ』

D　前田青邨(せいそん)　『洞窟の頼朝』(どうくつ)

E　安田靫彦(ゆきひこ)　『黄瀬川の陣』(きせがわ)

F　土田麦僊(つちだばくせん)　『大原女』(おはらめ)

G　速水御舟(ぎょしゅう)　『炎舞』(えんぶ)

H　**上村松園**(うえむらしょうえん)　『序の舞』『夕暮』(ゆうぐれ)

☆京都で竹内栖鳳に学ぶ。女性初の文化勲章受章。

④近代の代表的西洋画家

明治期

A　**高橋由一(ゆいち)**　『**鮭(さけ)**』

☆横浜でワーグマン(英)に学ぶ。

B　**浅井忠(ちゅう)**　『**収穫**』

C　**黒田清輝**　『**湖畔(こはん)**』『**読書**』

D　**藤島武二**　『**天平(てんぴょう)の面影(おもかげ)**』

☆雑誌『明星』や与謝野晶子の歌集『みだれ髪』の表紙も描く。

E　**和田英作**　『**渡頭(ととう)の夕暮(ゆうぐれ)**』

F　**赤松麟作(りんさく)**　『**夜汽車**』

G　**青木繁(しげる)**　『**海の幸(さち)**』

H　**和田三造(さんぞう)**　『**南風(なんぷう)**』

大正・昭和初期

A　中村彝(つね)　『エロシェンコ氏の像』『少女』

B　**岸田劉生(りゅうせい)**　『**麗子像**(麗子微笑(びしょう)など)』

☆フューザン会のち草土社(そうどしゃ)や**春陽会(しゅんようかい)**の中心的人物。

C　**安井曽太郎(そうたろう)**　『**金蓉(きんよう)**』

☆浅井忠に師事。のちフランスでセザンヌに学び，**二科会**に参加。

D　**梅原龍三郎(りゅうざぶろう)**　『**紫禁城(しきんじょう)**』『長安街』『北京秋天(しゅうてん)』

☆浅井忠に師事。のちフランスでルノワールに学び，**二科会**に参加。

E　萬鉄五郎(よろずてつごろう)　『もたれて立つ人』

⑤近代の代表的彫刻家

明治期

A　**高村光雲**（こううん）　『**老猿**（ろうえん）』『西郷隆盛像』

☆仏師の伝統的技法に西洋の特色を加え，新たな木彫を開く。

B　竹内久一（きゅういち）　『伎芸天像（ぎげいてん）』

C　**新海竹太郎**（しんかいたけたろう）　『**ゆあみ**』

D　**荻原守衛**（おぎわらもりえ）　『**女**』『坑夫（こうふ）』

☆アメリカやフランスで学び，ロダンの影響が強い。

E　**朝倉文夫**（あさくらふみお）　『**墓守**（はかもり）』『大隈重信像』

大正・昭和初期

A　**高村光太郎**（こうたろう）　『**手**』『**鯰**（なまず）』

B　**平櫛田中**（ひらぐしでんちゅう）　『**転生**（てんしょう）』『**五浦釣人**（いづらちょうじん）』

第６講　教育史

1　古代～中世の教育

①奈良時代の教育

A　**大学**〔大学寮〕

上級官人(かんじん)の養成機関として**中央に設置**，**式部省が管轄**(かんかつ)。**貴族**や東西史部(ふひとべ)**の子弟**が入学し学生(がくしょう)となり，儒教中心の学業を終了して試験を通れば太政官に推薦される。

☆８～９世紀にかけ**明経道**(みょうぎょうどう)，**明法道**(みょうぼうどう)，**紀伝道**(きでんどう)〔文章道(もんじょうどう)〕，**算道**の四道が確立された。音道，書道を加え六道という。

☆教官の**明経博士**(はかせ)には清原氏･中原氏などが，**明法博士**には坂上氏･中原氏が，**文章博士**には菅原氏･大江氏･小野氏が，**算博士**は三善(みよし)氏･小槻(おづき)氏が就いた。

B　陰陽寮(おんみょう)

天文・暦・時報などを司(つかさど)る官司として中央に設置，中務省が管轄。

☆安倍氏や賀茂(かも)氏が教官として有名。

C　典薬寮(てんやく)

医薬を司る官司として中央に設置，宮内省が管轄。医学・薬学を教えた。

☆和気(わけ)氏や丹波(たんば)氏が教官として有名。

D　**国学**

下級官人の養成機関として**地方に設置**，**国司が管轄**。**郡司の子弟**らが入学。儒学・医学を教育し，修了者は上京して試験を通れば登用された。

E　図書館

石上宅嗣(いそのかみのやかつぐ)が邸宅を寺とし，**芸亭**(うんてい)という施設を置いて仏教以外の蔵書(ぞうしょ)も公開。**わが国初の私設図書館**。

②平安時代の教育

A　大学教育の発展

明経道・明法道・紀伝道・算道の四道が確立。**漢詩文の隆盛に伴い紀伝道が中心教科となる。**

B　**大学別曹**

大学付属の寄宿舎兼図書館。特定の一族専用で学費も支援された。

あ　**弘文院（和気氏）**

☆和気広世（清麻呂の子）が設立。

い　**勧学院（藤原氏）**

☆**藤原冬嗣が設立**した最大の大学別曹。

う　**学館院（橘氏）**

☆嵯峨天皇の皇后橘嘉智子〔檀林皇后〕が設立。

え　**奨学院**（**在原氏**など皇族出身氏族〔王氏〕）

☆在原行平（業平の兄）が設立。

C　**庶民教育**

綜芸種智院（828年，**空海が設立**）

☆**京都**で儒教・仏教・道教を幅広く教えたが，**空海の死後廃絶した**。

③中世の教育

A　**金沢文庫（北条〔金沢〕実時）**⇒鎌倉時代

☆武蔵国称名寺境内にある，**初の武家による私設図書館**。

☆当時，唐代の『貞観政要』などが帝王学の教科書として為政者に広く読まれた。

B　**足利学校（下野国）**⇒室町時代

関東管領上杉憲実が再興した漢学研究のための学校。戦国時代には全国から学生が集まり，宣教師フランシスコ＝ザビエルにより「**坂東の大学**」として西洋に紹介された。

☆初代庠主（校長）は円覚寺の快元。

C　武家子弟・庶民の学問

いろは歌や『童子教』『実語教』，往来物の『**庭訓往来**』（玄恵の作か？），『御成敗式目』などが教科書として使用された。

２　近世の教育

①イエズス会の教育施設（安土桃山時代）

A　**セミナリオ**

安土（近江国）にオルガンティーノらが設置した中級学校・**神学校**。のちヴァリニャーニにより有馬（ありま）（肥前国）に合併された。

B　**コレジオ**

府内（豊後国）にヴァリニャーニが設置した**大学**・宣教師養成学校。のち迫害（はくがい）のため天草（肥後国）・長崎（肥前国）へと移転。

☆ノビシャド〔修練院〕から入学する者もいた。

②江戸時代の儒学と教育

A　幕府の教育機関

1790年　寛政異学の禁で朱子学を正学とする。

1797年　聖堂学問所を官立化し，**昌平坂学問所**（しょうへいざか）**〔昌平黌〕**（こう）とする。

B　**藩校〔藩学〕**⇒全国に約250校

藩校は，初め朱子学を主とする儒学や武術を学ばせるものが多かったが，のちには国学や洋学も取り入れ，年齢や学力に応じた学級制もみられるようになった。

あ　**明倫館**（めいりんかん）　（**長州藩**，毛利吉元（よしもと））
い　養賢堂（ようけんどう）　（仙台藩，伊達吉村（よしむら））
う　明倫堂　（尾張藩，徳川氏）
え　**時習館**（じしゅうかん）　（**熊本藩・細川重賢**（しげかた））
お　**造士館**（ぞうしかん）　（**薩摩藩・島津重豪**（しげひで））
か　**興譲館**（こうじょうかん）　（**米沢藩・上杉治憲**（はるのり）**〔鷹山**（ようざん）**〕**が再興）
き　修猷館（しゅうゆうかん）　（福岡藩，黒田氏）
く　**明徳館**（めいとくかん）　（**秋田藩・佐竹義和**（よしまさ））
け　学習館　（紀伊藩，徳川氏）
こ　明倫堂　（加賀藩，前田氏）
さ　**日新館**　（**会津藩**，松平容頌（かたのぶ））⇒はじめ保科正之（ほしなまさゆき）の稽古堂（けいこどう）
し　致道館（ちどうかん）　（庄内（しょうない）藩，酒井氏）
す　**弘道館**（こうどうかん）　（**水戸藩・徳川斉昭**（なりあき））

C　**郷校〔郷学〕**

藩の援助を受け，藩士に限らず庶民の教育も担(にな)った。

☆教諭所(きょうゆじょ)なども含む。

あ　**閑谷(しずたに)学校（岡山藩・池田光政）**

い　有備館(ゆうびかん)　（仙台藩）

う　含翠堂(がんすいどう)　（摂津国平野）

え　廉(れん)塾　　（福山藩）

☆儒学者菅茶山(かんちゃざん)の私塾を郷学として認可。

D　**私塾**

あ　**弘文館（林羅山〔道春(どうしゅん)〕）**　⇒上野忍ヶ岡に設立された**朱子学塾**

☆のち湯島に移転，半官半民の**聖堂学問所**となる。

い　講習堂　（松永尺五(せきご)）　⇒京都二条に設立された朱子学塾

う　**藤樹書院（中江藤樹(とうじゅ)）**　⇒近江国小川村に設立された陽明学塾

え　**花畠教場(はなばたけきょうじょう)（熊沢蕃山(ばんざん)〔了介(りょうかい)〕）**⇒岡山藩に設立された陽明学塾

☆最古の私塾。

お　**古義堂(こぎどう)　（伊藤仁斎(じんさい)）**　⇒**京都堀川**に設立された**古学塾**

か　**蘐園塾(けんえんじゅく)　（荻生徂徠(おぎゅうそらい)）**　⇒**江戸**に設立された**古学塾**

き　**懐徳堂(かいとくどう)　（中井甃庵(しゅうあん)ら）**　⇒**大坂**に設立された**準官学の町人塾**

☆初代学主は三宅石庵(みやけせきあん)，のち**中井甃庵(しゅうあん)**やその子**中井竹山(ちくざん)**・履軒(りけん)らが学主となる。

☆**『出定後語(しゅつじょうごご)』**の**富永仲基(とみながなかもと)**や**『夢(ゆめ)の代(しろ)』**の**山片蟠桃(やまがたばんとう)**など，異色の合理主義学者を輩出(はいしゅつ)。

く　**芝蘭堂(しらんどう)　（大槻玄沢）**　⇒**江戸**に設立された**蘭学塾**

☆**新元会(しんげんかい)〔おらんだ正月〕**を開催。

け　**咸宜園(かんぎえん)　（広瀬淡窓(ひろせたんそう)）**　⇒**豊後国日田(ひた)**に設立された**全国最大規模の私塾**

こ　**洗心洞　（大塩平八郎）**　⇒**大坂**に設立された**陽明学塾**

さ　**適塾(てきじゅく)〔適々斎塾(てきてきさいじゅく)〕（緒方洪庵(おがたこうあん)）**⇒**大坂**に設立された**医学・蘭学塾**

☆**福沢諭吉(ゆきち)・橋本左内(さない)・大村益次郎(ますじろう)**〔村田蔵六(ぞうろく)〕らが学ぶ。

し　**鳴滝塾(なるたきじゅく)　（シーボルト）**　⇒**長崎**に設立された**診療所併設の医学・蘭学塾**

☆**高野長英**・小関三英(こせきさんえい)・伊東玄朴(いとうげんぼく)らが学ぶ。

す　**松下村塾**(玉木文之進)　⇒**長門国萩**に設立，甥の**吉田松陰**が教授。

☆**高杉晋作・久坂玄瑞・伊藤博文・山県有朋**・前原一誠・品川弥次郎らが学ぶ。

E　**庶民教育**

あ　**寺子屋**〔手習所〕

生産活動の向上と商業の発達を背景に，師匠が男女に**読み・書き・算盤**など日常生活に役立つことや，幕府・藩の法，道徳などを教える。富裕な町人・村役人・僧侶・神職・牢人などにより運営された。

☆『庭訓往来』『六諭衍義大意』『女大学』などを教科書として使用。

☆幕府の文書支配主義の影響もあり，**当時の日本の初等教育は世界屈指の水準を誇った。**

い　**心学講舎**

享保期，**京都**の町人**石田梅岩**が，商人を中心とする庶民の生活倫理として**心学〔石門心学〕**を唱え，『**都鄙問答**』を著す。

☆儒教道徳に仏教，神道，道教の教えを加味。営利・商売の正当性と商人の存在意義を講話で説く。

☆弟子の**手島堵庵(京都)**やその弟子**中沢道二(江戸)**が全国に広める。

３　近代の教育

①教育制度の整備

A　**文部省**(もんぶしょう)の設置(**1871年**)

初代文部卿(きょう)に**大木喬任**(たかとう)(肥前藩出身)が就任。

B　**学制**　(**1872年**，文部卿＝大木喬任)

同時に出された『**学事奨励に関する太政官布告〔被仰出書**(おおせいだされしょ)〕』で理念を表明。

あ　**フランス流教育制度**を採用

い　**中央集権的な全国画一主義の学校体系を確立**

☆政府は，国民各自が身を立て智を開き産をつくるための学問，という功利主義的教育観を唱え，小学校教育に重点を置き**義務教育**の方針を発表。**国民皆学**(かいがく)を目指した。

☆全国を**８大学区**に分け，各**大学区**に大学校１と中学校32を設置。各**中学区**に小学校210を設置(＝**小学区**)。これは約600人に１小学校の割合で，とくに地方では当時の国民生活と現実的にかけ離れていた。

☆『小学読本(どくほん)』(文部省)や『世界国尽(くにづくし)』(福沢諭吉)が教科書として使用され，**掛け図**を用いて授業が行われた。

う　強引で画一的な実施や**過大な経済負担**，教育内容の不満などもあり各地で**学制反対一揆**が発生

☆長野県松本市の**開智学校**など，和洋折衷式で擬洋風建築の小学校もあった。

C　**師範**(しはん)**学校**・東京女学校(1872年)，**女子師範**(しはん)**学校**(1874年)，**東京大学**(**1877年**)の開設。

☆東京大学は旧幕府の開成所・医学所を起源とする開成学校(のち大学南校⇒東京開成学校)・医学校(のち大学校⇒大学東高⇒東京医学校)など諸校が統合されたもの。のち帝国大学さらに東京帝国大学となった。

D　**教育令**(**1879年**，文部卿＝寺島宗則(てらしまむねのり))

この年，元田永孚(もとだながざね)(熊本藩出身)が起草した『教学大旨(たいし)』も出される。

あ　**アメリカ流教育制度**を採用

☆義務教育は16カ月とする。

い　**地方の実情に合わせ**小学校設立は町や村の自由裁量とする

う　小学校を閉鎖・廃止する町村が続出

☆強制から放任への急転換は大きな混乱を招き，**“自由教育令”**と各方面から非難される。

E　**改正教育令（1880年）**

あ　**再び中央集権的な教育制度を採用しドイツ流の国家主義的教育**を目指す

☆**義務教育**は３年のうち**16カ月**とする。

い　国家の基準を明示し教育統制を強化

☆修身（しゅうしん）を筆頭科目とする。

F　**私立学校**の設立

1868年	**慶應義塾**（けいおうぎじゅく）	**（福沢諭吉）**	のち**慶應義塾大学**
1870年	フェリス女学校		のちフェリス女学院
1875年	**同志社英学校**（どうししゃ）	**（新島襄）**（にいじまじょう）	のち**同志社大学**
1880年	専修学校		のち専修大学
	東京法学社		のち法政大学
1881年	明治法律学校	（岸本辰雄ら）	のち明治大学
1882年	**東京専門学校**	**（大隈重信）**	のち**早稲田大学**
1883年	東京英和学校		のち青山学院大学
1885年	英吉利（イギリス）法律学校		のち中央大学
1886年	関西法律学校		のち関西大学
1887年	哲学館	（井上円了（えんりょう））	のち東洋大学
1889年	日本法律学校	（山田顕義（あきよし））	のち日本大学
1900年	**女子英学塾**	**（津田梅子）**	のち**津田塾大学**
	東京女医学校	（吉岡弥生（やよい））	のち東京女子医科大学
1901年	日本女子大学校	（成瀬仁蔵（なるせじんぞう）ら）	のち日本女子大学

②国家主義教育の強化（学校教育制度の確立）

A　**学校令（1886年，文部大臣＝森有礼(ありのり)）**

あ　**ドイツ流国家主義的教育制度**

い　**帝国大学令・中学校令・小学校令**（1890年に改正）・**師範学校令**の総称

う　**義務教育**期間を尋常(じんじょう)小学校やそれに準じる簡易科の**３～４年間**とする

え　教科書は**検定制**とする。

B　**教育勅語(ちょくご)〔教育に関する勅語〕（1890年，元田永孚(もとだながざね)・井上毅(こわし)が原案起草(きそう)）**

「**忠君(ちゅうくん)愛国**」を強調した国家主義的教育理念，儒教的道徳思想。

☆翌1891年，第一高等中学校で**内村鑑三不敬(ふけい)事件**が起こる。

C　**高等学校令**（1894年），実業学校令・**高等女学校令**・私立学校令（1899年）

軍部には陸軍士官学校と海軍兵学校が設置された。

D　**小学校令再改正　（1900年）**

市町村に小学校設置義務を課し，４年間の**義務教育を無償化**。

☆1892年の就学率は男子70％，女子36％だったが，無償化により女子が大きく伸び，1902年に男女合わせての就学率は90％を超えた。

E　教科書疑獄(ぎごく)事件　（1902～03年）

小学校教科書の採用をめぐる贈収賄(ぞうしゅうわい)事件。

F　**国定教科書　（1903年）**

小学校の教科書が，自由採択制⇒開申(かいしん)制⇒認可制⇒検定制を経て，**国定制**となる。

G　専門学校令　（1903年）

中学校・高等女学校卒業を入学資格とする修業年限３年以上の高等教育機関。

H　**小学校令再々改正（1907年）**

義務教育期間を６年に延長，就学率は1911年に98％を超えた。

I　**戊申(ぼしん)詔書　（1908年）**

教育を通じた国民道徳の強化をはかる。

J　**南北朝正閏(せいじゅん)問題**　（1911年）

“南北朝”を並立と記述した，文部省の官僚**喜田貞吉(きたさだきち)**が免官となる。

☆以後“南北朝”は“吉野朝”と記述され，北朝の天皇は削除された。

③大学令（1918年，原敬内閣）

総合大学である**九帝国大学**（東京・京都・東北・九州・北海道・大阪・名古屋・京城・台北）以外にも，**単科大学**や公立・私立大学の設置が認められた。

☆同年の**新高等学校令**により，全寮制と外国語重視を特色とする高等学校（３年制）の増設が進められた。また，1920年代には中学校･高等女学校（それぞれ４年制）の生徒数も急増した。

④自由教育運動の展開（大正期〜）

子供の持つ可能性･自発性の伸長をはかる，児童中心主義を掲げた新教育運動。フランス・アメリカに発生し日本に伝わる。

☆沢柳政太郎の成城小学校，羽仁もと子の自由学園，西村伊作の文化学院など。

⑤綴方教育運動の展開（昭和初期〜）

型にはまった作文教育を改め，日常生活重視の立場からありのままを作文させる教育が実施された。

☆鈴木三重吉の雑誌『赤い鳥』などが影響を与える。

⑥戦時下の教育

1937年　**文部省『国体の本義』**を発行

☆戦時下の国民教化の根本テキストとして普及。

1941年　**国民学校令（近衛文麿②内閣）**

☆**“皇国民の錬成”**を目指し，６年の尋常小学校と2年の高等小学校を８年の**国民学校**（尋常科・高等科）と改称。教科書『臣民の道』などを使用，皇国史観に基づく歴史教育が実施された。

☆成人と同様に「**八紘一宇**」の精神を教え，軍国少年・少女を育成した。

1943年　**学徒動員〔勤労動員〕**開始（６月）

☆中等学校以上の男子学生が対象。**女子挺身隊**もあった。

学徒出陣　（12月）

☆大学・高等学校・専門学校に在学中の文科系学生の徴兵猶予を停止。軍隊に動員された男性は400〜500万人に達したので，国内労働力が絶対的に不足した。

1944年　大都市の**学童疎開**開始

４　戦後の教育

①教育改革指令（1945年〜）

A　軍国主義・超国家主義的教育の禁止

B　**教職追放**

1946〜47年に出された“ポツダム政令”で，職業軍人・軍国主義者・超国家主義者約11万人が追放される。

C　**修身・日本歴史・地理の授業一時停止**

のち1947年からの新学制により，**道徳・社会科**として再出発。最後の小学校用国定歴史教科書は『くにのあゆみ』。

☆日本国憲法普及のため，中学１年生用の準教科書『**あたらしい憲法のはなし**』も登場。

D　その他

墨塗（すみぬ）り教科書・青空教室など。

②アメリカ教育使節団の来日（1946年，幣原喜重郎）

GHQの要請でニューヨーク州の教育長官らが来日，教育の民主化を勧告。

☆日本側は教育家委員会のち教育刷新（さっしん）委員会を組織して協力。

③教育基本法　　（1947年，第一次吉田茂内閣）

教育の機会均等，**男女共学**の原則，**義務教育９年制**など。

☆のち2006年に改正（第一次安倍晋三内閣）。

④学校教育法　　（1947年，第一次吉田茂内閣）

六・三・三・四制の新学制が発足。

☆大学も大幅な増設により大衆化（＝新制大学）し，女子大学生も増加した。

⑤教育委員会法　（1948年，芦田均内閣）

1948年，**教育勅語失効**後に教育行政の地方分権化をはかり制定。教育委員は**公選制**。

☆都道府県・市町村ごとの教育委員会発足（ほっそく）は同年の第二次吉田茂内閣。

⑥その後の教育

1952年　**中央教育審議会**の設置

☆教育刷新委員会を改組。

1954年　**教育二法**の制定

☆公立学校教員の政治活動・政治教育を禁止，愛国心教育の必要が強調される。日本教職員組合〔日教組（にっきょうそ）〕はこれに反対。

1956年　教育委員会法の改正〔新教育委員会法〕

☆教育委員の選出が，住民による公選制から地方自治体首長による**任命制**となる。

1958年　文部省が「**道徳**」の実施要項を通達

☆週1回「道徳の時間」がスタート。

1969年　東大安田講堂事件

☆前年から続く**大学紛争**の影響で，この年の東大入試は実施されず。

1979年　国公立大学の共通一次試験開始

1984年　臨時教育審議会設置法

☆「教育の自由化」が討議され，個性重視路線に。

1990年　大学入試センター試験開始

1991年　全日本教職員組合設立

☆日本教職員組合〔日教組〕から左派が分裂。

1992年　小学校1・2年生で新教科「生活」開始

2001年　文部省を**文部科学省**に改組

2002年　完全週5日制を導入

「総合的な学習の時間」開始

義務教育で絶対評価を導入し「ゆとり教育」を本格実施

2004年　文科省が「脱ゆとり教育」を明示

2006年　教育基本法改正

2007年　学校教育法改正

2013年　いじめ防止対策推進法施行

2018年～道徳の教科化

2021年～大学入試改革（予定）

Ⓒ RECRUIT
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。